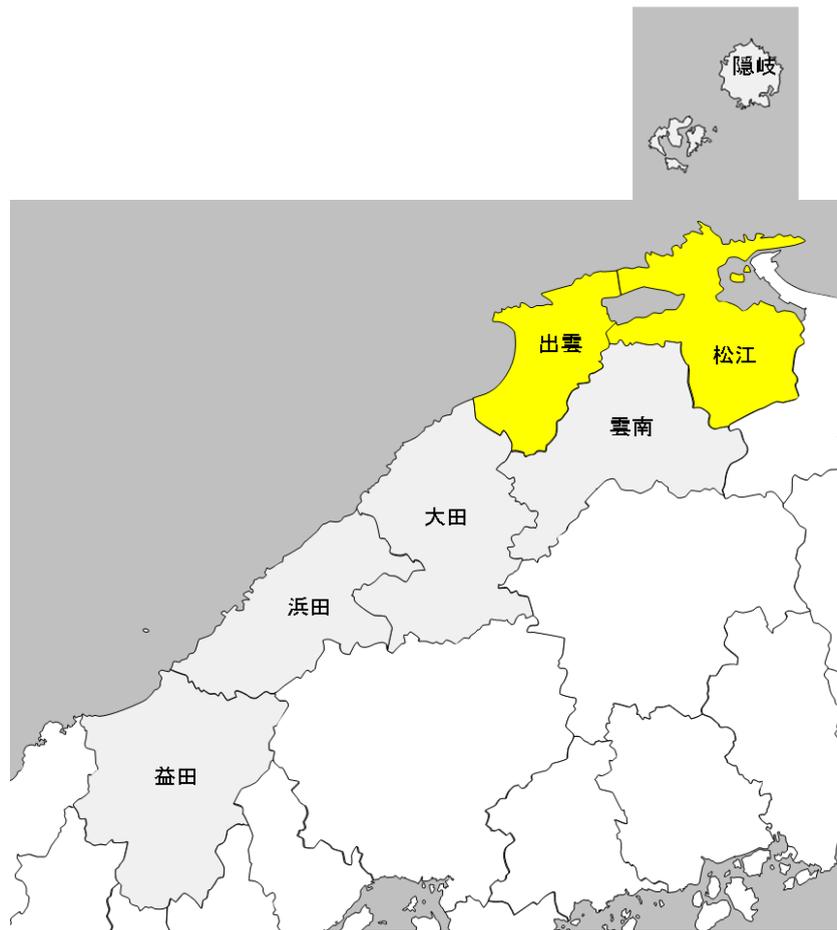


# 32. 島根県

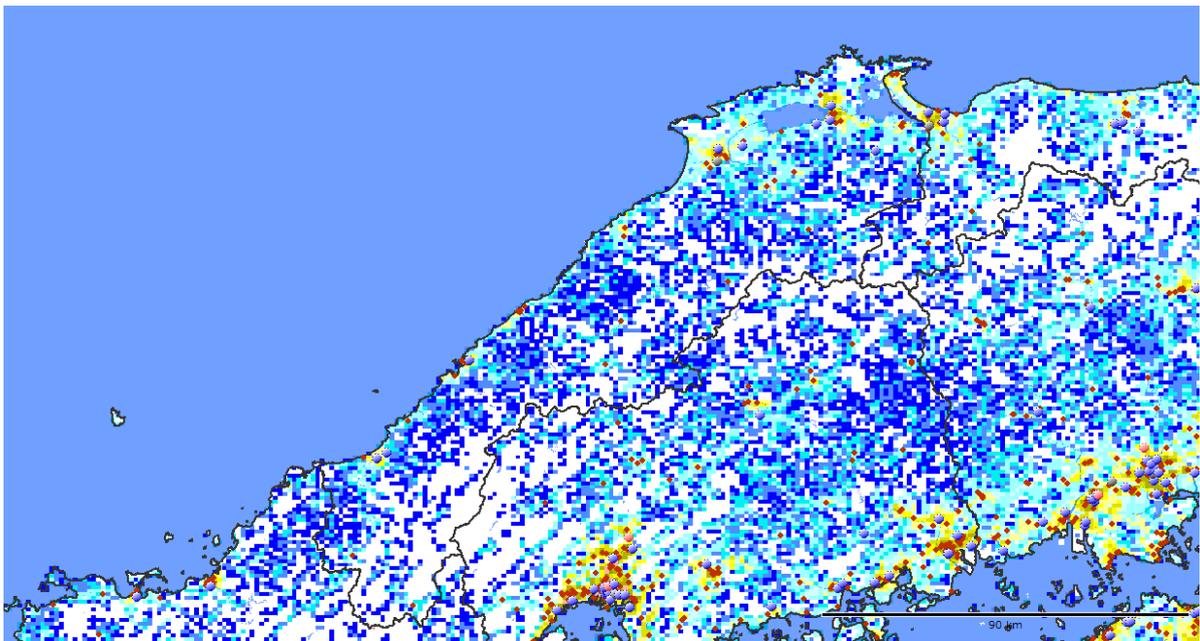


目次

島根県	32	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	32	-	8
1. 松江医療圏	32	-	20
2. 雲南医療圏	32	-	25
3. 出雲医療圏	32	-	30
4. 大田医療圏	32	-	35
5. 浜田医療圏	32	-	40
6. 益田医療圏	32	-	45
7. 隠岐医療圏	32	-	50

# 32. 島根県

人口分布 (1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画 (1km<sup>2</sup>メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く (10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル (1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない (1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS  
 Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口 (1平方キロ)



DPC病院

● I群

● II群

● III群

● 一般病院

## (島根県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 島根県は、総人口約694千人(2015年)、面積6,708km<sup>2</sup>、人口密度は104人/km<sup>2</sup>である。

\*人口の将来予測： 島根県の総人口は2025年に643千人へと減少し(2015年比-7%)、2040年に558千人へと減少する(2025年比-13%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の123千人が、2025年にかけて139千人へと増加し(2015年比+13%)、2040年には134千人へと減少する(2025年比-4%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 島根県の一人当たり医療費(国保)は430千円(偏差値69)、介護給付費は310千円(偏差値67)であり、医療費、介護給付費ともに非常に高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 島根県の一人当たり急性期医療密度指数は1.34、一人当たり慢性期医療密度指数は1.26で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が53(病院医師数53、診療所医師数55)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は57と多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は58で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は45とやや少ない。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は52と療養病床数は全国平均レベルである。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値54とやや多く、回復期病床数は偏差値55とやや多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は53で精神病床数はやや多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は63で診療所数は多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 島根県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、13,526人(75歳以上1,000人当たりの偏差値54)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が8,640床(偏差値57)、高齢者住宅等が4,886床(偏差値48)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、11,335人(75歳以上1,000人当たりの偏差値62)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設52、特別養護老人ホーム59、介護療養型医療施設48、有料老人ホーム44、軽費ホーム53、グループホーム57、サ高住50である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値52と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値47とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値50と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、1,477人(75歳以上1,000人当たりの偏差値47)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は+7%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数ではほぼ対応可能である。

## 2. 推移

### 【人口と医療需要】

島根県の総人口は、2005年742,223人が、2015年に694,352人と6%減少し、2025年の人口が642,787人と予測され、2005年→2025年の間に13%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に3%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の減少が予測される。

### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

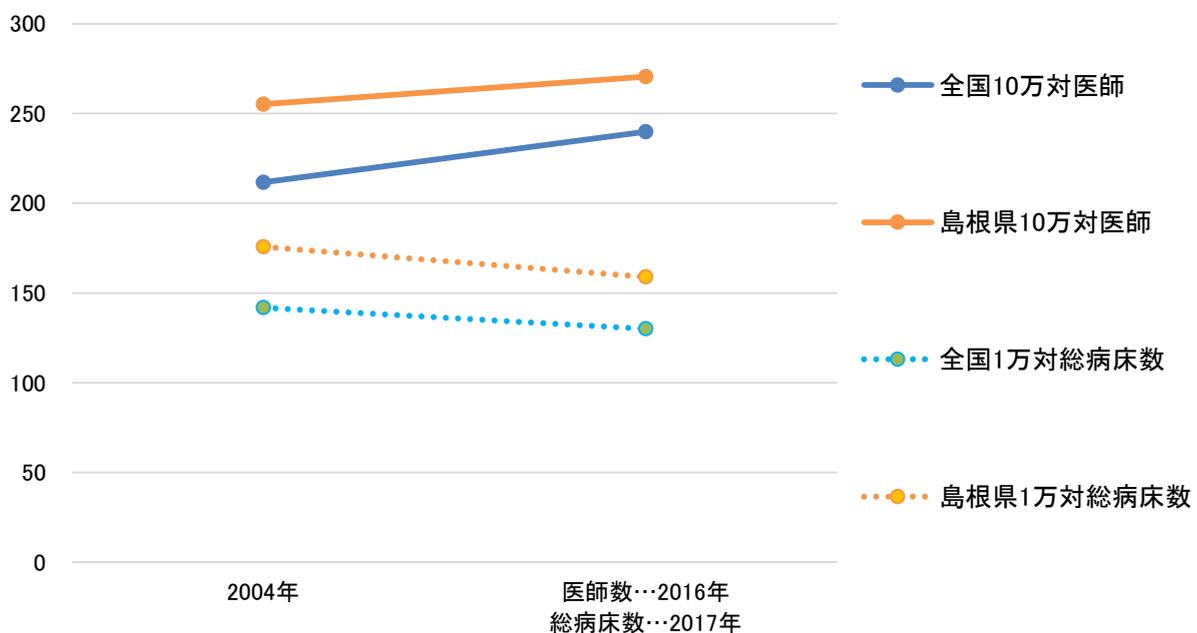
2004年の病院数が59(人口10万人当たり7.9病院(全国平均7.1)偏差値52)であったが、2017年に51(人口10万人当たり7.3病院(全国平均6.6)偏差値52)となり、13年間で8病院が減少した。

2004年の診療所数が770(人口10万人当たり104診療所(全国平均76)偏差値64)であったが、2017年に721(人口10万人当たり104診療所(全国平均80)偏差値63)と、49診療所が減少した。

2004年の総病床数が13,046床(人口1万人当たり176(全国平均142)偏差値56)であったが、2017年に11,039床(人口1万人当たり159(全国平均130)偏差値55)と、2,007床の減少、率にして15%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

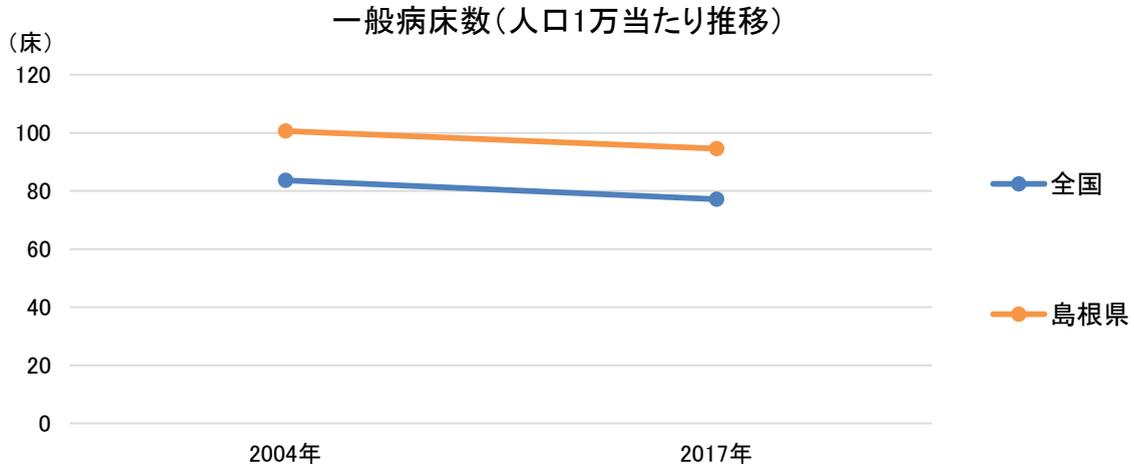
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が1,895人(人口10万人当たり255人(全国平均212人)偏差値55)であったが、2016年に1,879人(人口10万人当たり271人(全国平均240人)偏差値53)と、16人の減少、率にして1%の減少(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



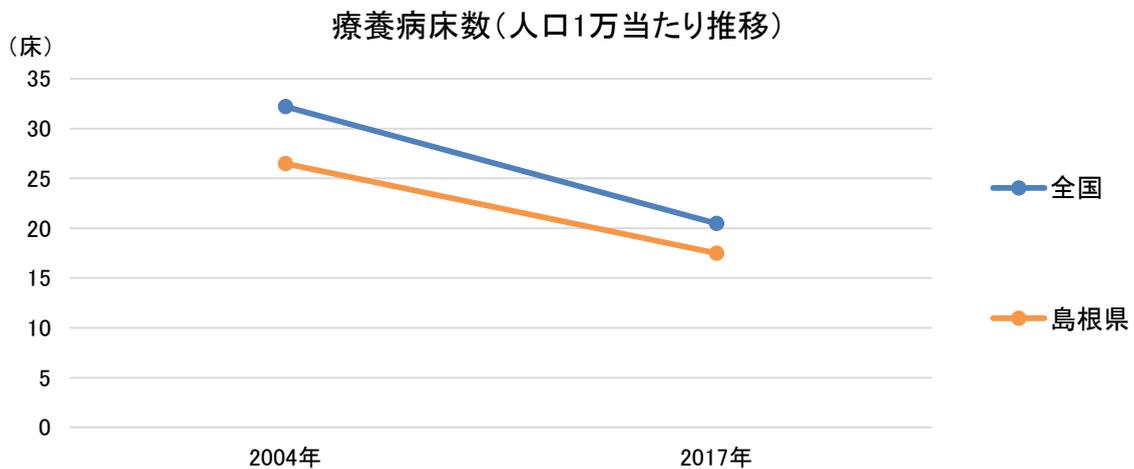
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が7,471床(人口1万人当たり101(全国平均84)偏差値56)であったが、2017年に6,567床(人口1万人当たり95(全国平均77)偏差値57)と、904床の減少、率にして12%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



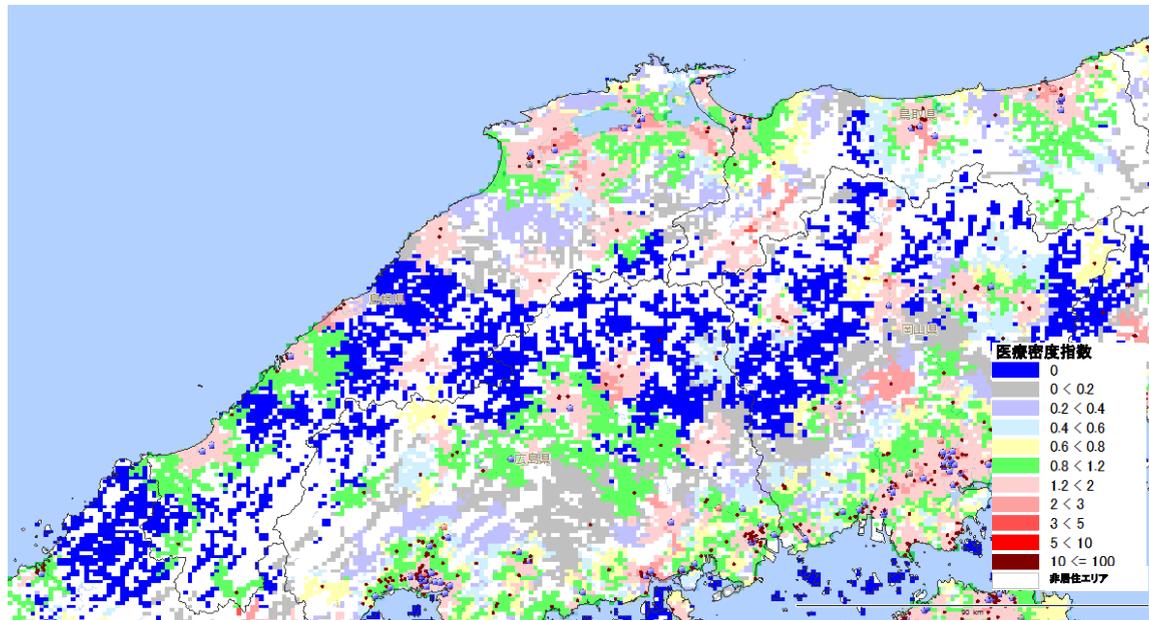
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が2,776床(75歳以上1,000人当たり26(全国平均32)偏差値47)であったが、2017年に2,149床(75歳以上1,000人当たり17(全国平均20)偏差値47)と、627床の減少、率にして23%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



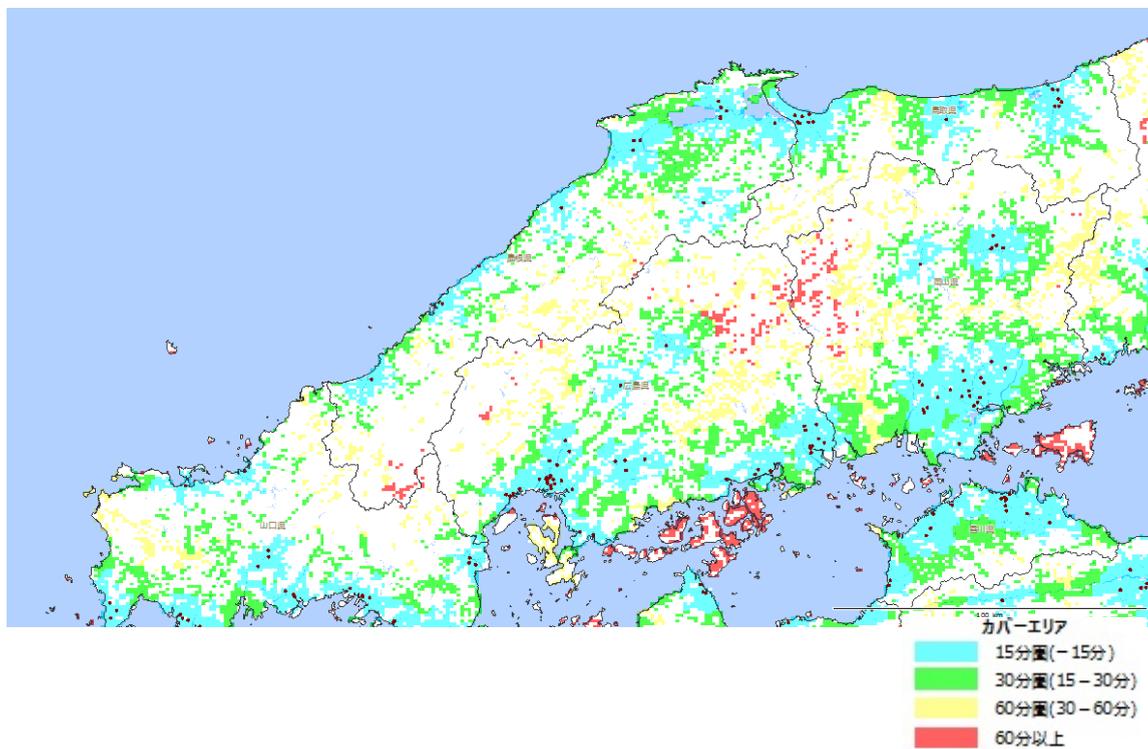
## (島根県) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表32-1 急性期医療密度指数マップ



図表32-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )



資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料

資\_図表 32-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	127,095		372,950		340.8		27%	122,544	110,919	16,322	21,800	22,392	-4%	-9%	34%	3%
島根県	694	46位	6,708	19位	103.5		32%	643	558	123	139	134	-7%	-13%	13%	-4%
松江	246	35%	994	15%	247.3	地方都市型	29%	233	209	38	47	48	-5%	-10%	24%	2%
雲南	57	8%	1,164	17%	49.1	過疎地域型	38%	48	36	13	13	12	-16%	-25%	0%	-8%
出雲	172	25%	624	9%	275.4	地方都市型	29%	170	162	27	32	33	-1%	-5%	19%	3%
大田	55	8%	1,244	19%	43.9	過疎地域型	40%	46	34	13	13	11	-16%	-26%	0%	-15%
浜田	83	12%	959	14%	86.1	過疎地域型	35%	73	60	16	17	14	-12%	-18%	6%	-18%
益田	62	9%	1,377	21%	44.8	過疎地域型	37%	54	43	13	14	12	-13%	-20%	8%	-14%
隠岐	21	3%	346	5%	59.6	過疎地域型	39%	18	14	5	5	4	-14%	-22%	0%	-20%

出典 <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月  
<人口(2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月  
<面積>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月

資\_図表 32-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度		
			2016年 ベッド数	2025年目標 ベッド数	2025年充足度 指数 (%)
全国	1.00	1.00	1,485,377	1,772,098	-19.3%
島根県	1.34	1.26	11,950	11,163	6.6%
松江	1.83	1.36	3,672	3,730	-1.6%
雲南	1.13	1.23	1,076	1,083	-0.7%
出雲	1.17	1.31	2,734	2,468	9.7%
大田	0.82	1.24	1,217	1,044	14.2%
浜田	1.25	1.90	1,541	1,333	13.5%
益田	0.90	3.02	1,282	1,101	14.1%
隠岐	0.50	0.69	428	405	5.4%

出典 <一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2016年度版)序章【参考資料】参照(日医総研WP no.375) )  
<75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

資\_図表 32-3 国保の医療費・地域差指数、全体の介護給付費

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	347	(43)	1.000	133	(30)	1.000	188	(17)	1.000	252	(35)
島根県	430	69	1.143	189	69	1.320	216	66	1.048	310	67
松江	414	66	1.097	182	66	1.249	206	60	1.004	295	62
雲南	454	75	1.153	219	78	1.437	211	63	0.985	296	63
出雲	416	66	1.108	172	63	1.190	221	69	1.082	302	64
大田	451	74	1.141	202	73	1.326	224	70	1.039	341	76
浜田	500	85	1.245	224	80	1.447	252	87	1.153	352	79
益田	408	64	1.024	176	64	1.147	204	59	0.939	295	62
隠岐	409	65	1.023	195	71	1.260	192	52	0.883	342	76

出典 <一人あたり医療費>平成28年度医療費の地域差分析 厚生労働省  
<一人あたり介護給付費>平成29年度介護保険事業状況報告(年報) 平成29年度累計(平成29年3月サービス分から平成30年2月サービス分まで)  
※介護給付費の二次医療圏値の算定には、福岡県と沖縄県の一部市町村が二次医療圏をまたぐ広域連合を構成しているため、構成市町村の75歳以上人口による按分を用いた。また、複数の二次医療圏をもつ横浜市および川崎市は同じデータを記載。

資\_図表 32-4 後期高齢者の医療費・地域差指数

二次医療圏	一人あたり 後期高齢者 医療費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数
全国	919	(120)	1.000	458	(98)	1.000	427	(39)	1.000
島根県	902	49	0.969	476	52	1.006	400	43	0.942
松江	909	49	0.972	490	53	1.033	391	41	0.913
雲南	851	44	0.914	468	51	0.967	360	33	0.866
出雲	904	49	0.965	471	51	0.988	410	46	0.958
大田	916	50	0.964	483	53	0.975	410	46	0.972
浜田	951	53	1.026	471	51	0.991	454	57	1.084
益田	925	50	0.989	504	55	1.052	393	41	0.928
隠岐	698	32	0.747	332	37	0.689	346	29	0.827

出典 <一人あたり医療費>平成28年度医療費の地域差分析 厚生労働省

資\_図表 32-5 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,412		6.6	(4.6)	101,471		80	(18.9)
島根県	51	0.6%	7.3	52	721	0.7%	104	63
松江	15	29%	6.1	49	249	35%	101	61
雲南	5	10%	8.8	55	52	7%	91	56
出雲	11	22%	6.4	50	163	23%	95	58
大田	4	8%	7.3	52	71	10%	130	77
浜田	9	18%	10.9	59	93	13%	113	67
益田	5	10%	8.1	53	73	10%	118	70
隠岐	2	4%	9.7	57	20	3%	97	59

出典 平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月

資\_図表 32-6 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数(再掲)				無床診療所数				有床診療所数			
	診療所数(再掲)	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	無床診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	有床診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	101,471		80	(18.9)	94,269		74	(18.7)	7,202		5.7	(6.0)
島根県	721	0.7%	104	63	679	0.7%	98	63	42	0.6%	6.0	51
松江	249	35%	101	61	234	34%	95	61	15	36%	6.1	51
雲南	52	7%	91	56	52	8%	91	59	0	0%	0	40
出雲	163	23%	95	58	151	22%	88	57	12	29%	7.0	52
大田	71	10%	130	77	65	10%	119	74	6	14%	11.0	59
浜田	93	13%	113	67	85	13%	103	65	8	19%	9.7	57
益田	73	10%	118	70	72	11%	117	73	1	2%	1.6	43
隠岐	20	3%	97	59	20	3%	97	62	0	0%	0	40
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資\_図表 32-7 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院総病床数				診療所病床数				病院+診療所病床数			
	病院総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院+診療所病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,554,879		1,223	(48.1)	98,355		77	(94)	1,653,234		1,301	(53.7)
島根県	10,557	0.7%	1,520	56	482	0.5%	69	49	11,039	0.7%	1,590	55
松江	3,792	36%	1,543	57	167	35%	68	49	3,959	36%	1,611	56
雲南	684	6%	1,197	49	0	0%	0	42	684	6%	1,197	48
出雲	2,711	26%	1,577	57	116	24%	67	49	2,827	26%	1,644	56
大田	728	7%	1,333	52	72	15%	132	56	800	7%	1,465	53
浜田	1,432	14%	1,734	61	108	22%	131	56	1,540	14%	1,865	61
益田	1,051	10%	1,702	60	19	4%	31	45	1,070	10%	1,733	58
隠岐	159	2%	772	41	0	0%	0	42	159	1%	772	40
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資\_図表 32-8 病院病床数(一般病床、療養病床、精神病床)

二次医療圏	一般病床数				療養病床数				精神病床数			
	一般病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	療養病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	精神病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	890,865		701	(223)	325,228		256	(203)	331,700		261	(210)
島根県	6,132	0.7%	883	58	2,102	0.6%	303	52	2,277	0.7%	328	53
松江	2,381	39%	969	62	489	23%	199	47	904	40%	368	55
雲南	397	6%	695	50	183	9%	320	53	100	4%	175	46
出雲	1,634	27%	950	61	611	29%	355	55	460	20%	268	50
大田	378	6%	692	50	178	8%	326	53	168	7%	308	52
浜田	644	11%	780	54	376	18%	455	60	408	18%	494	61
益田	587	10%	951	61	241	11%	390	57	215	9%	348	54
隠岐	111	2%	539	43	24	1%	116	43	22	1%	107	43
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資\_図表 32-9 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期 病床数				地域包括 ケア 病床数			
	回復期 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	地域包括 ケア 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	80,806		64	(46)	73,895		58	(63)
島根県	588	0.7%	85	55	897	1.2%	129	61
松江	253	43%	103	58	301	34%	122	60
雲南	30	5%	53	48	81	9%	142	63
出雲	156	27%	91	56	126	14%	73	52
大田	55	9%	101	58	148	16%	271	84
浜田	50	9%	61	49	120	13%	145	64
益田	44	7%	71	52	95	11%	154	65
隠岐	0	0%	0	36	26	3%	126	61
出典	平成29年度病床機能報告 平成29年7月				平成30年5月地方厚生局			

資\_図表 32-10 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	445,096	396,156	16,674	1,098,305	495,042	301,360	44.5%	(27%)	5.2%	(22%)
島根県	5,530	4,650	433	4,778	1,354	1,576	77.4%	62	21.6%	57
松江	1,810	1,651	46	1,838	648	399	71.8%	60	10.3%	52
雲南	469	337	128	215	60	55	84.9%	65	69.9%	79
出雲	1,657	1,311	52	1,054	329	559	79.9%	63	8.5%	51
大田	437	378	55	291	0	123	100.0%	71	30.9%	61
浜田	665	537	128	712	56	248	90.6%	67	34.0%	63
益田	333	325	0	668	261	192	55.5%	54	0.0%	48
隠岐	159	111	24	0	0	0	100.0%	71	100.0%	92
出典	地方厚生局指定一覧平成30年12月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計 公的病院の分類は、「新公立病院改革プラン」と「公的医療機関等2025プラン」の策定対象医療機関および開設者が国の医療機 関とし、それ以外は民間病院とした。									

資\_図表 32-11 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔 件数				分娩件数			
	全身麻酔 件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	分娩件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	3,945,312		3,104	(2,557)	923,436		727	(264)
島根県	11,916	0.3%	1,716	45	5,460	0.6%	786	52
松江	5,196	44%	2,114	46	2,220	41%	903	57
雲南	276	2%	483	40	60	1%	105	26
出雲	3,852	32%	2,240	47	1,656	30%	963	59
大田	228	2%	418	39	300	5%	549	43
浜田	1,020	9%	1,235	43	612	11%	741	51
益田	1,128	9%	1,827	45	552	10%	894	56
隠岐	216	2%	1,048	42	60	1%	291	33
出典	平成29年度病床機能報告 ※平成29年6月の月間件数×12				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月 ※平成29年9月の月間件数×12			

資\_図表 32-12 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数				病院医師数				診療所医師数			
	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	304,759		240	(90)	202,302		159	(72)	102,457		81	(23)
島根県	1,879	0.6%	271	53	1,245	0.6%	179	53	634	0.6%	91	55
松江	612	33%	249	51	385	31%	157	50	227	36%	92	55
雲南	77	4%	135	38	40	3%	70	38	37	6%	65	43
出雲	767	41%	446	73	591	47%	344	76	176	28%	102	59
大田	93	5%	170	42	42	3%	77	39	51	8%	93	55
浜田	168	9%	203	46	92	7%	111	43	76	12%	92	55
益田	133	7%	215	47	76	6%	123	45	57	9%	92	55
隠岐	29	2%	141	39	19	2%	92	41	10	2%	49	36
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月				平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月			

資\_図表 32-13 専門医数(総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科専門医数				小児科専門医数				産婦人科専門医数			
	総合内科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	小児科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	産婦人科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	22,522		17.7	(9.2)	13,551		10.7	(4.8)	11,242		8.8	(4.0)
島根県	153	0.7%	22.0	55	85	0.6%	12.2	53	66	0.6%	9.5	52
松江	47	31%	19.1	52	26	31%	10.6	50	23	35%	9.4	51
雲南	12	8%	21.0	54	3	4%	5.3	39	2	3%	3.5	37
出雲	70	46%	40.7	75	34	40%	19.8	69	25	38%	14.5	64
大田	6	4%	11.0	43	6	7%	11.0	51	5	8%	9.2	51
浜田	11	7%	13.3	45	8	9%	9.7	48	6	9%	7.3	46
益田	7	5%	11.3	43	6	7%	9.7	48	4	6%	6.5	44
隠岐	0	0%	0	31	2	2%	9.7	48	1	2%	4.9	40
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資\_図表 32-14 専門医数(皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科専門医数				眼科専門医数				耳鼻咽喉科専門医数			
	皮膚科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	眼科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	耳鼻咽喉科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,609		4.4	(2.2)	9,812		7.7	(3.3)	7,687		6.0	(2.6)
島根県	31	0.6%	4.5	50	53	0.5%	7.6	50	48	0.6%	6.9	53
松江	8	26%	3.3	45	21	40%	8.5	53	16	33%	6.5	52
雲南	2	6%	3.5	46	0	0%	0	26	2	4%	3.5	40
出雲	15	48%	8.7	70	17	32%	9.9	57	21	44%	12.2	73
大田	2	6%	3.7	47	2	4%	3.7	38	1	2%	1.8	34
浜田	2	6%	2.4	41	8	15%	9.7	56	4	8%	4.8	45
益田	2	6%	3.2	45	5	9%	8.1	51	4	8%	6.5	52
隠岐	0	0%	0	30	0	0%	0	26	0	0%	0	27
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資\_図表 32-15 専門医数(精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	9,177		7.2	(3.4)	21,168		16.7	(7.1)	16,463		13.0	(4.6)
島根県	72	0.8%	10.4	59	122	0.6%	17.6	51	100	0.6%	14.4	53
松江	26	36%	10.6	60	42	34%	17.1	51	42	42%	17.1	59
雲南	2	3%	3.5	39	3	2%	5.3	34	5	5%	8.8	41
出雲	27	38%	15.7	75	56	46%	32.6	72	34	34%	19.8	65
大田	4	6%	7.3	50	1	1%	1.8	29	3	3%	5.5	34
浜田	7	10%	8.5	54	12	10%	14.5	47	11	11%	13.3	51
益田	5	7%	8.1	53	6	5%	9.7	40	5	5%	8.1	40
隠岐	1	1%	4.9	43	2	2%	9.7	40	0	0%	0	22
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資\_図表 32-16 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,003		4.7	(2.1)	6,763		5.3	(2.4)	5,687		4.5	(3.0)
島根県	37	0.6%	5.3	53	35	0.5%	5.0	49	35	0.6%	5.0	52
松江	10	27%	4.1	47	12	34%	4.9	48	10	29%	4.1	49
雲南	2	5%	3.5	44	1	3%	1.8	35	0	0%	0	35
出雲	16	43%	9.3	72	14	40%	8.1	62	19	54%	11.1	72
大田	3	8%	5.5	54	2	6%	3.7	43	2	6%	3.7	47
浜田	2	5%	2.4	39	4	11%	4.8	48	1	3%	1.2	39
益田	3	8%	4.9	51	2	6%	3.2	41	3	9%	4.9	51
隠岐	1	3%	4.9	51	0	0%	0	27	0	0%	0	35
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資\_図表 32-17 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	7,107		5.6	(3.3)	1,603		1.3	(1.0)	3,795		3.0	(1.9)
島根県	58	0.8%	8.4	58	9	0.6%	1.3	50	24	0.6%	3.5	52
松江	19	33%	7.7	57	3	33%	1.2	50	5	21%	2.0	45
雲南	0	0%	0	33	0	0%	0	37	2	8%	3.5	53
出雲	35	60%	20.4	95	6	67%	3.5	73	12	50%	7.0	71
大田	1	2%	1.8	39	0	0%	0	37	0	0%	0	34
浜田	2	3%	2.4	40	0	0%	0	37	4	17%	4.8	60
益田	0	0%	0	33	0	0%	0	37	1	4%	1.6	43
隠岐	1	2%	4.9	48	0	0%	0	37	0	0%	0	34
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資\_図表 32-18 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	リハビリテ- ション科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	2,141		1.7	(1.3)	2,516		2.0	(1.4)
島根県	8	0.4%	1.2	46	20	0.8%	2.9	56
松江	5	63%	2.0	53	10	50%	4.1	65
雲南	0	0%	0	37	0	0%	0	36
出雲	3	38%	1.7	50	9	45%	5.2	73
大田	0	0%	0	37	0	0%	0	36
浜田	0	0%	0	37	1	5%	1.2	45
益田	0	0%	0	37	0	0%	0	36
隠岐	0	0%	0	37	0	0%	0	36
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月							

資\_図表 32-19 看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,145,134		901	(287)	919,205		723	(243)	225,929		178	(71)
島根県	7,741	0.7%	1,115	57	6,246	0.7%	900	57	1,495	0.7%	215	55
松江	2,610	34%	1,062	56	2,124	34%	864	56	486	33%	198	53
雲南	452	6%	791	46	360	6%	631	46	92	6%	161	48
出雲	2,294	30%	1,334	65	1,972	32%	1,147	67	322	22%	187	51
大田	479	6%	878	49	333	5%	609	45	147	10%	269	63
浜田	999	13%	1,210	61	740	12%	896	57	259	17%	313	69
益田	743	10%	1,203	61	594	10%	962	60	149	10%	241	59
隠岐	164	2%	797	46	123	2%	598	45	41	3%	199	53
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資\_図表 32-20 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	薬剤師 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	139,385		110	(57)	301,323		237	(98)
島根県	902	0.6%	130	54	1,316	0.4%	190	45
松江	398	44%	162	59	455	35%	185	45
雲南	50	6%	88	46	62	5%	109	37
出雲	207	23%	120	52	408	31%	237	50
大田	48	5%	87	46	84	6%	154	41
浜田	97	11%	118	51	162	12%	196	46
益田	90	10%	145	56	122	9%	198	46
隠岐	13	1%	65	42	23	2%	112	37
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月			

資\_図表 32-21 在宅医療施設数(在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション)

二次医療圏	在宅療養支援診療所				在宅療養支援病院				訪問看護ステーション			
	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,224		0.9	(0.4)	1,386		0.1	(0.1)	10,994		0.7	(0.2)
島根県	120	0.8%	1.0	52	8	0.6%	0.1	47	84	0.8%	0.7	50
松江	45	38%	1.2	58	3	38%	0.1	49	29	35%	0.8	55
雲南	6	5%	0.5	41	0	0%	0	38	6	7%	0.5	40
出雲	25	21%	0.9	52	1	13%	0.0	43	21	25%	0.8	55
大田	8	7%	0.6	44	1	13%	0.1	49	10	12%	0.8	55
浜田	24	20%	1.5	65	0	0%	0	38	8	10%	0.5	42
益田	9	8%	0.7	46	1	13%	0.1	49	7	8%	0.5	44
隠岐	3	3%	0.7	45	2	25%	0.4	101	3	4%	0.7	50
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成30年12月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成30年12月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成30年6月			

資\_図表 32-22 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数				介護保険施設定員(病床)数				高齢者住宅定員数			
	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,695,162		104	(17)	1,001,413		61	(12)	693,749		43	(16)
島根県	13,526	0.8%	110	54	8,640	0.9%	70	57	4,886	0.7%	40	48
松江	4,621	34%	123	62	2,519	29%	67	55	2,102	43%	56	59
雲南	1,140	8%	88	41	940	11%	73	59	200	4%	15	33
出雲	2,990	22%	112	55	1,682	19%	63	51	1,308	27%	49	54
大田	1,344	10%	106	51	1,000	12%	79	64	344	7%	27	40
浜田	1,615	12%	103	49	1,207	14%	77	62	408	8%	26	39
益田	1,388	10%	109	53	936	11%	73	60	452	9%	35	45
隠岐	428	3%	95	45	356	4%	79	64	72	1%	16	33
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資\_図表 32-23 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数				特別養護老人ホーム(特養)定員数				介護療養病床数			
	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	366,589		22	(5.9)	575,180		35	(9.9)	59,644		3.7	(4.0)
島根県	2,867	0.8%	23	52	5,437	0.9%	44	59	336	0.6%	2.7	48
松江	852	30%	23	50	1,558	29%	42	56	109	32%	2.9	48
雲南	191	7%	15	37	713	13%	55	70	36	11%	2.8	48
出雲	604	21%	23	50	1,078	20%	40	55	0	0%	0	41
大田	318	11%	25	54	640	12%	50	65	42	13%	3.3	49
浜田	480	17%	31	64	649	12%	41	56	78	23%	5.0	53
益田	352	12%	28	59	529	10%	41	56	55	16%	4.3	52
隠岐	70	2%	16	38	270	5%	60	75	16	5%	3.5	50
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 32-24 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	有料老人ホーム			軽費ホーム	軽費ホーム			グループホーム	グループホーム		
		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	237,141		14.5	(10.8)	23,297		1.4	(2.1)	201,436		12.3	(5.8)
島根県	926	0.4%	7.5	44	249	1.1%	2.0	53	1,984	1.0%	16.2	57
松江	330	36%	8.8	45	52	21%	1.4	50	710	36%	18.9	61
雲南	10	1%	0.8	37	0	0%	0	43	126	6%	9.7	45
出雲	363	39%	13.6	49	77	31%	2.9	57	522	26%	19.6	63
大田	50	5%	3.9	40	0	0%	0	43	167	8%	13.2	51
浜田	127	14%	8.1	44	0	0%	0	43	207	10%	13.2	51
益田	46	5%	3.6	40	120	48%	9.4	88	180	9%	14.1	53
隠岐	0	0%	0	37	0	0%	0	43	72	4%	16.0	56
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 32-25 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

二次医療圏	サ高住 (全施設)	サ高住(全施設)			サ高住 (特定 施設)	サ高住(特定 施設)			サ高住 (非特定 施設)	サ高住(非特定 施設)			
		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	231,875		14.2	(7.0)	22,090		1.4	(1.8)	209,785		12.9	(6.8)	
島根県	1,727	0.7%	14.1	50	151	0.7%	1.2	49	1,576	0.8%	12.8	50	
松江	1,010	58%	26.9	68	61	40%	1.6	52	949	60%	25.3	68	
雲南	64	4%	4.9	37	0	0%	0	43	64	4%	4.9	38	
出雲	346	20%	13.0	48	90	60%	3.4	61	256	16%	9.6	45	
大田	127	7%	10.0	44	0	0%	0	43	127	8%	10.0	46	
浜田	74	4%	4.7	36	0	0%	0	43	74	5%	4.7	38	
益田	106	6%	8.3	42	0	0%	0	43	106	7%	8.3	43	
隠岐	0	0%	0	30	0	0%	0	43	0	0%	0	31	
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計			平成30年6月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの					平成30年6月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの				

資\_図表 32-26 介護サービス従事看護師数(介護施設、訪問看護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事 看護師数	介護施設			看護師数 (施設)	訪問看護			看護師数 (訪問)	訪問看護		
		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	171,768		10.5	(2.3)	120,155		7.4	(2.0)	51,613		3.2	(1.1)
島根県	1,439	0.8%	11.7	55	1,067	0.9%	8.7	57	372	0.7%	3.0	49
松江	499	35%	13.3	62	354	33%	9.4	60	145	39%	3.9	56
雲南	136	9%	10.5	50	114	11%	8.8	57	22	6%	1.7	36
出雲	278	19%	10.4	50	184	17%	6.9	48	94	25%	3.5	53
大田	149	10%	11.8	55	109	10%	8.6	56	40	11%	3.2	50
浜田	182	13%	11.6	55	141	13%	9.0	58	41	11%	2.6	45
益田	154	11%	12.0	57	129	12%	10.1	64	24	6%	1.9	38
隠岐	41	3%	9.2	44	35	3%	7.7	52	7	2%	1.5	34
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 32-27 介護サービス従事介護職員数(介護施設等、在宅介護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員数 (介護施設等)				介護職員数 (在宅)			
					全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	1,507,968		92	(12.4)	1,286,309		79	(11.2)	221,659		13.6	(5.6)
島根県	12,812	0.8%	104	60	11,335	0.9%	92	62	1,477	0.7%	12.0	47
松江	4,001	31%	107	62	3,417	30%	91	61	583	40%	15.5	54
雲南	1,142	9%	88	47	1,055	9%	81	52	87	6%	6.7	38
出雲	2,993	23%	112	66	2,683	24%	101	70	310	21%	11.6	47
大田	1,276	10%	101	57	1,172	10%	92	62	104	7%	8.2	40
浜田	1,706	13%	108	63	1,450	13%	92	62	256	17%	16.3	55
益田	1,154	9%	90	48	1,061	9%	83	54	93	6%	7.3	39
隠岐	540	4%	120	72	497	4%	110	78	43	3%	9.6	43
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 32-28 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数				訪問介護 利用者数			
					全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	1,228,040		75	(35)	511,065		31	(13)	1,218,955		75	(26)
島根県	9,268	0.8%	75	50	3,471	0.7%	28	48	7,220	0.6%	59	44
松江	2,333	25%	62	46	1,434	41%	38	55	2,741	38%	73	49
雲南	598	6%	46	42	241	7%	19	40	398	6%	31	33
出雲	1,888	20%	71	49	764	22%	29	48	1,494	21%	56	43
大田	1,621	17%	128	65	320	9%	25	45	681	9%	54	42
浜田	1,986	21%	126	64	489	14%	31	50	1,183	16%	75	50
益田	762	8%	60	46	181	5%	14	37	512	7%	40	37
隠岐	80	1%	18	34	42	1%	9	33	211	3%	47	39
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 32-29 総人口の推移と医療需要の増減(医療費ベース)

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移(医療費ベース) (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 15年 増減率	2015→ 25年 増減率	2005→ 25年 増減率
全国		127,767,994	127,094,745	-1%	122,544,102	-4%	13%	5%	18%
島根県		742,223	694,352	-6%	642,787	-13%	3%	-1%	2%
松江	地方都市型	254,635	245,758	-3%	233,406	-8%	8%	3%	11%
雲南	過疎地域型	66,194	57,126	-14%	48,254	-27%	-5%	-8%	-12%
出雲	地方都市型	173,751	171,938	-1%	170,061	-2%	8%	5%	14%
大田	過疎地域型	63,882	54,609	-15%	45,910	-28%	-8%	-10%	-17%
浜田	過疎地域型	90,820	82,573	-9%	73,307	-19%	-1%	-6%	-7%
益田	過疎地域型	69,245	61,745	-11%	53,958	-22%	-1%	-5%	-6%
隠岐	過疎地域型	23,696	20,603	-13%	17,891	-24%	-5%	-4%	-9%
出典	<人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口,年齢(3区分)・割合,就業者数,居間人口など) <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月 ※医療需要は(0~64歳人口)+(65~74歳人口)×3.0+(75歳以上人口)×4.9で算出。								

資\_図表 32-30 病院数の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,412	6.6	(4.6)	-665	-7%
島根県	59	7.9	52	51	7.3	52	-8	-14%
松江	21	8.2	53	15	6.1	49	-6	-29%
雲南	5	7.6	51	5	8.8	55	0	0%
出雲	9	5.2	45	11	6.4	50	2	22%
大田	5	7.8	52	4	7.3	52	-1	-20%
浜田	11	12.1	63	9	10.9	59	-2	-18%
益田	6	8.7	54	5	8.1	53	-1	-17%
隠岐	2	8.4	53	2	9.7	57	0	0%
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

資\_図表 32-31 診療所数の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	97,051	76	(20)	101,471	80	(19)	4,420	5%
島根県	770	104	64	721	104	63	-49	-6%
松江	254	100	62	249	101	61	-5	-2%
雲南	58	88	56	52	91	56	-6	-10%
出雲	172	99	61	163	95	58	-9	-5%
大田	85	133	78	71	130	77	-14	-16%
浜田	101	111	68	93	113	67	-8	-8%
益田	73	105	65	73	118	70	0	0%
隠岐	27	114	69	20	97	59	-7	-26%
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

資\_図表 32-32 医師数の推移

二次医療圏	2004年			2016年			2004→2016増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	270,371	212	(84)	304,759	240	(90)	34,388	13%
島根県	1,895	255	55	1,879	271	53	-16	-1%
松江	624	245	54	612	249	51	-12	-2%
雲南	97	147	42	77	135	38	-20	-21%
出雲	677	390	71	767	446	73	90	13%
大田	119	186	47	93	170	42	-26	-22%
浜田	186	205	49	168	203	46	-18	-10%
益田	151	218	51	133	215	47	-18	-12%
隠岐	41	173	45	29	141	39	-12	-29%
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2016年>平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月							

資\_図表 32-33 総病床数(精神科を含む)の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,812,554	142	(56)	1,653,234	130	(54)	-159,320	-9%
島根県	13,046	176	56	11,039	159	55	-2,007	-15%
松江	4,880	192	59	3,959	161	56	-921	-19%
雲南	813	123	47	684	120	48	-129	-16%
出雲	2,772	160	53	2,827	164	56	55	2%
大田	992	155	52	800	146	53	-192	-19%
浜田	1,790	197	60	1,540	187	61	-250	-14%
益田	1,583	229	65	1,070	173	58	-513	-32%
隠岐	216	91	41	159	77	40	-57	-26%
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

資\_図表 32-34 一般病床数(病院+診療所)の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,068,821	84	(28)	980,151	77	(26)	-88,670	-8%
島根県	7,471	101	56	6,567	95	57	-904	-12%
松江	2,712	107	58	2,533	103	60	-179	-7%
雲南	444	67	44	397	69	47	-47	-11%
出雲	1,800	104	57	1,750	102	59	-50	-3%
大田	547	86	51	450	82	52	-97	-18%
浜田	999	110	59	731	89	54	-268	-27%
益田	821	119	62	595	96	57	-226	-28%
隠岐	148	62	42	111	54	41	-37	-25%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

資\_図表 32-35 療養病床数(病院+診療所)の推移

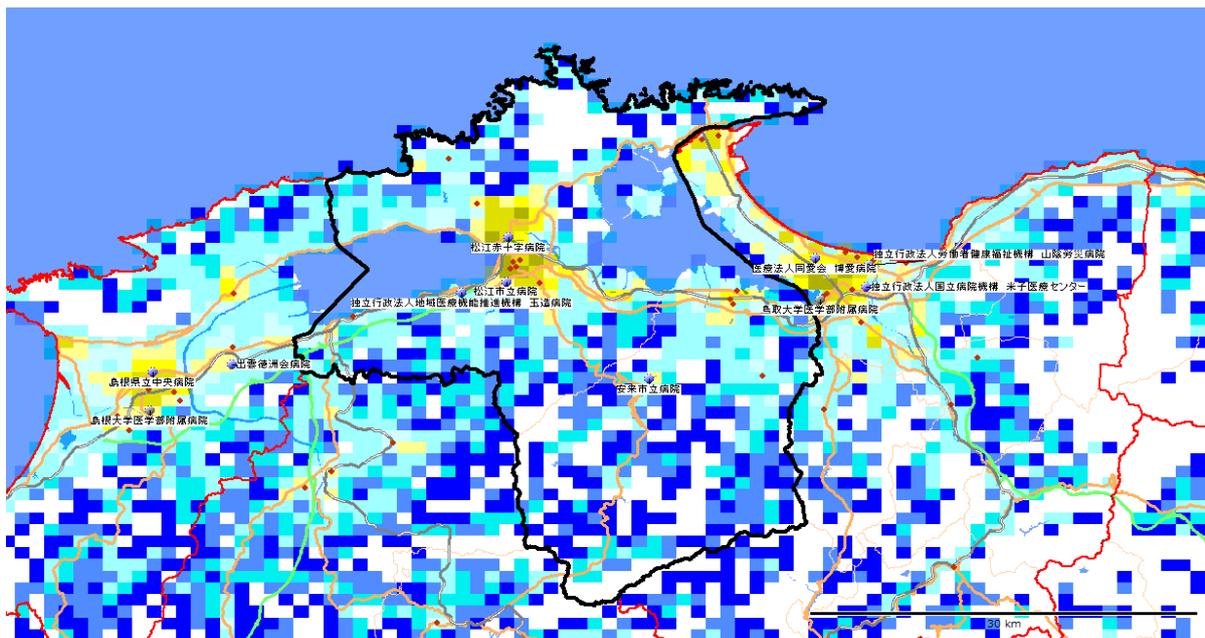
二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	373,823	32	(18)	334,297	20	(11)	-39,526	-11%
島根県	2,776	26	47	2,149	17	47	-627	-23%
松江	1,007	34	51	504	13	44	-503	-50%
雲南	215	18	42	183	14	44	-32	-15%
出雲	405	19	43	611	23	52	206	51%
大田	273	21	44	178	14	44	-95	-35%
浜田	317	22	44	397	25	54	80	25%
益田	535	48	59	252	20	49	-283	-53%
隠岐	24	5	35	24	5	37	0	0%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

# 32-1. まつえ 松江医療圏

構成市区町村 [松江市](#) [安来市](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



## (松江医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 松江(松江市)は、総人口約246千人(2015年)、面積994km<sup>2</sup>、人口密度は247人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 松江の総人口は2025年に233千人へと減少し(2015年比-5%)、2040年に209千人へと減少する(2025年比-10%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の38千人が、2025年にかけて47千人へと増加し(2015年比+24%)、2040年には48千人へと増加する(2025年比+2%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 松江の一人当たり医療費(国保)は414千円(偏差値66)、介護給付費は295千円(偏差値62)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 松江の一人当たり急性期医療密度指数は1.83、一人当たり慢性期医療密度指数は1.36で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が51(病院医師数50、診療所医師数55)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は56と多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は62で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は46とやや少ない。松江には、年間全身麻酔件数が2000例以上の松江赤十字病院(Ⅲ群・救命)、1000例以上の松江市立病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は47と療養病床数はやや少ない。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値59と多く、回復期病床数は偏差値58と多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は55で精神病床数はやや多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は61で診療所数は多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 松江の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4,621人(75歳以上1,000人当たりの偏差値62)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が2,519床(偏差値55)、高齢者住宅等が2,102床(偏差値59)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3,417人(75歳以上1,000人当たりの偏差値61)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設50、特別養護老人ホーム56、介護療養型医療施設48、有料老人ホーム45、軽費ホーム50、グループホーム61、サ高住68である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値58と多く、在宅療養支援病院は偏差値49と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値55とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、583人(75歳以上1,000人当たりの偏差値54)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-2%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

## (松江医療圏) 2. 推移

## 【人口と医療需要】

松江医療圏の総人口は、2005年254,635人が、2015年に245,758人と3%減少し、2025年の人口が233,406人と予測され、2005年→2025年の間に8%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に8%増加し、2015年から2025年にかけて3%程度の増加が予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

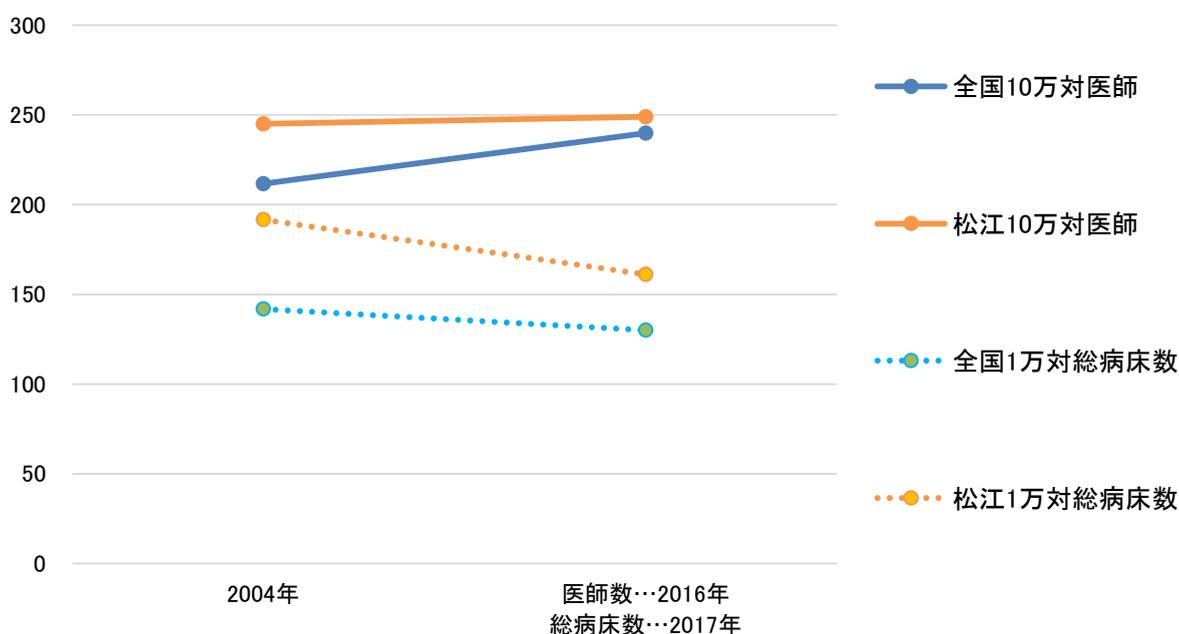
2004年の病院数が21(人口10万人当たり8.2病院(全国平均7.1)偏差値53)であったが、2017年に15(人口10万人当たり6.1病院(全国平均6.6)偏差値49)となり、13年間で6病院が減少した。

2004年の診療所数が254(人口10万人当たり100診療所(全国平均76)偏差値62)であったが、2017年に249(人口10万人当たり101診療所(全国平均80)偏差値61)と、5診療所が減少した。

2004年の総病床数が4,880床(人口1万人当たり192(全国平均142)偏差値59)であったが、2017年に3,959床(人口1万人当たり161(全国平均130)偏差値56)と、921床の減少、率にして19%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

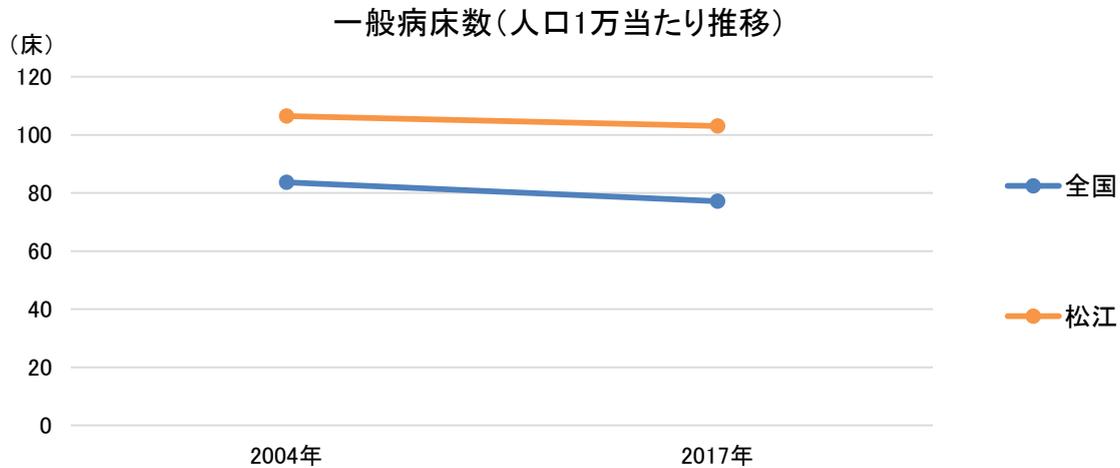
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が624人(人口10万人当たり245人(全国平均212人)偏差値54)であったが、2016年に612人(人口10万人当たり249人(全国平均240人)偏差値51)と、12人の減少、率にして2%の減少(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



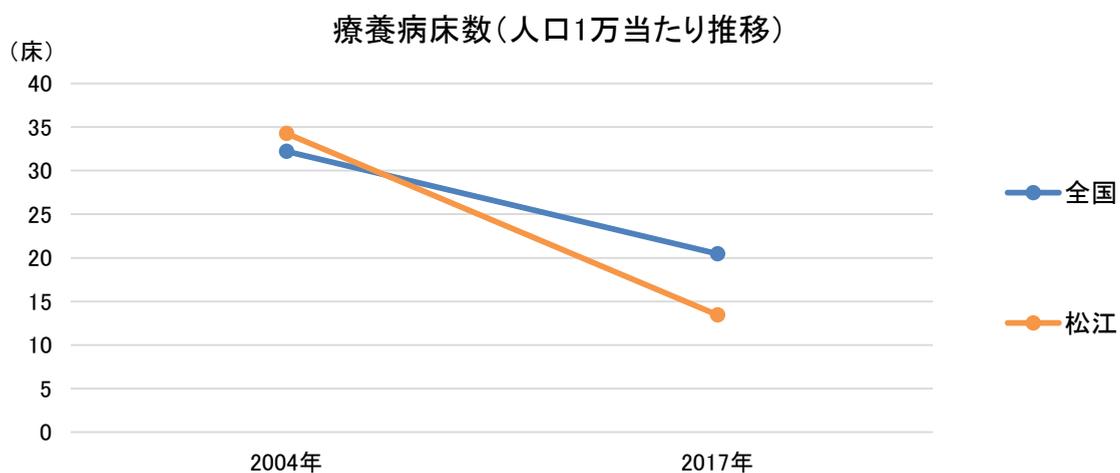
## 【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2,712床(人口1万人当たり107(全国平均84)偏差値58)であったが、2017年に2,533床(人口1万人当たり103(全国平均77)偏差値60)と、179床の減少、率にして7%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



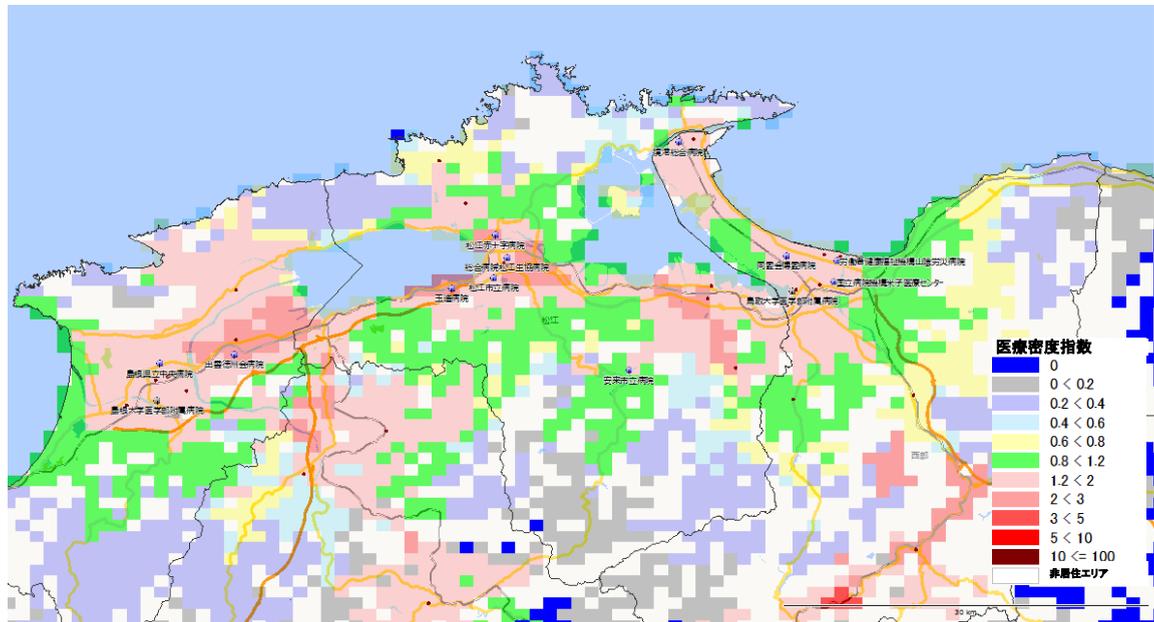
## 【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1,007床(75歳以上1,000人当たり34(全国平均32)偏差値51)であったが、2017年に504床(75歳以上1,000人当たり13(全国平均20)偏差値44)と、503床の減少、率にして50%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



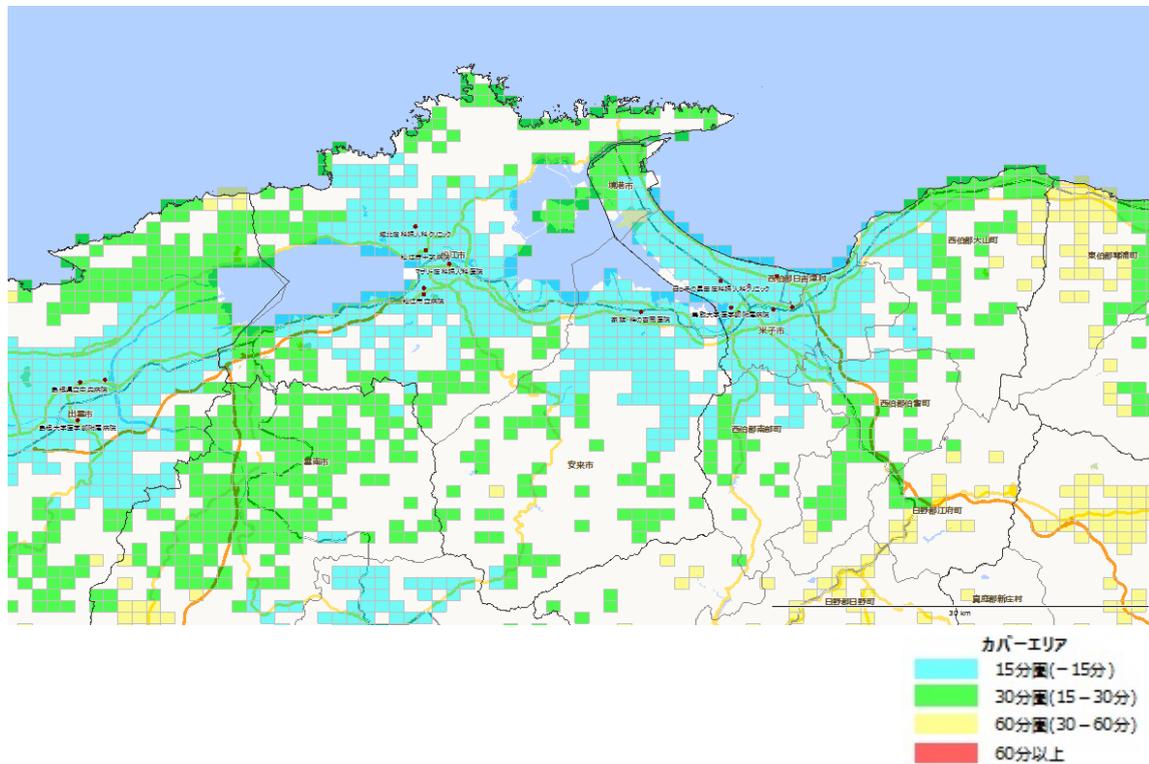
(松江医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表32-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表32-1-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )

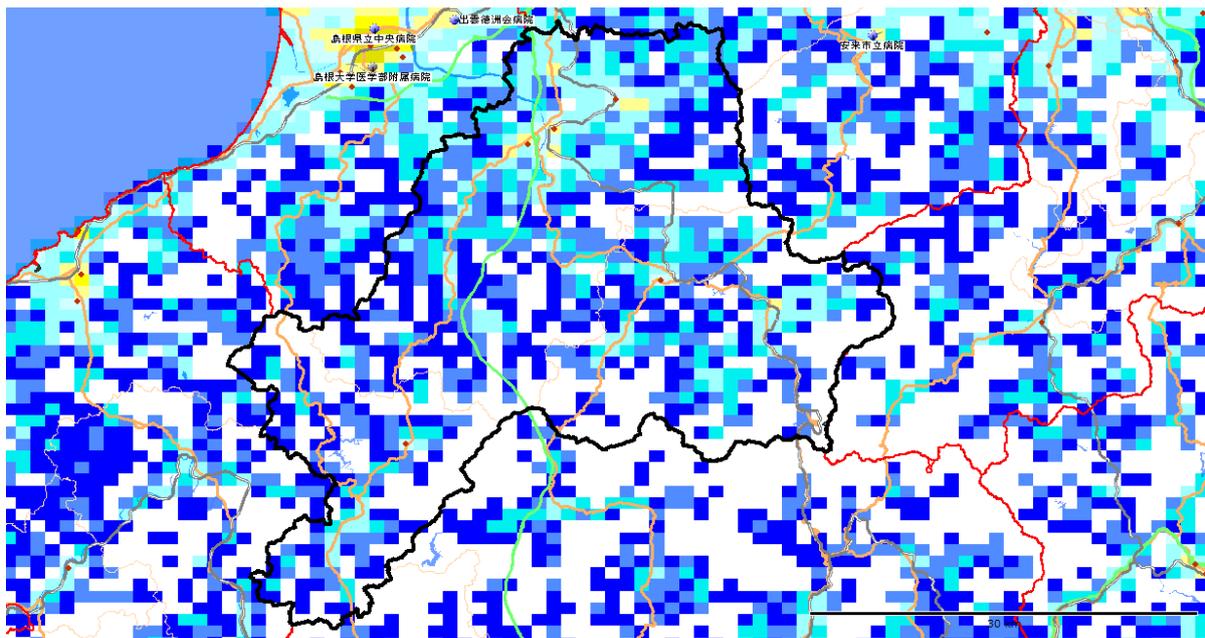


# 32-2. うんなん 雲南医療圏

構成市区町村 [雲南市](#) [奥出雲町](#) [飯南町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS  
 Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院

● I群

● II群

● III群

● 一般病院

## (雲南医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など：雲南(雲南市)は、総人口約57千人(2015年)、面積1,164km<sup>2</sup>、人口密度は49人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測：雲南の総人口は2025年に48千人へと減少し(2015年比-16%)、2040年に36千人へと減少する(2025年比-25%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の13千人が、2025年にかけて13千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年には12千人へと減少する(2025年比-8%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費：雲南の一人当たり医療費(国保)は454千円(偏差値75)、介護給付費は296千円(偏差値63)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度：雲南の一人当たり急性期医療密度指数は1.13、一人当たり慢性期医療密度指数は1.23で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は充実している。

\*医師・看護師の現状：総医師数の偏差値が38(病院医師数38、診療所医師数43)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は46とやや少ない。

\*一般病床等の現状：人口当たりの一般病床の偏差値は50で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は40と少ない。雲南には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

\*療養病床の現状：人口当たりの療養病床の偏差値は53と療養病床数はやや多い。

\*リハビリの現状：総療法士数は偏差値46とやや少なく、回復期病床数は偏差値48と全国平均レベルである。

\*精神病床の現状：人口当たりの精神病床の偏差値は46で精神病床数はやや少ない。

\*診療所の現状：人口当たりの診療所数の偏差値は56で診療所数は多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状：雲南の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,140人(75歳以上1,000人当たりの偏差値41)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が940床(偏差値59)、高齢者住宅等が200床(偏差値33)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,055人(75歳以上1,000人当たりの偏差値52)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設37、特別養護老人ホーム70、介護療養型医療施設48、有料老人ホーム37、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム45、サ高住37である。

\*在宅ケアの現状：在宅療養支援診療所は偏差値41と少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値40と少ない。介護職員(在宅)の合計は、87人(75歳以上1,000人当たりの偏差値38)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2025年の需要予測：2025年の介護充足度指数は-1%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

## (雲南医療圏) 2. 推移

## 【人口と医療需要】

雲南医療圏の総人口は、2005年66,194人が、2015年に57,126人と14%減少し、2025年の人口が48,254人と予測され、2005年→2025年の間に27%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に5%減少し、2015年から2025年にかけて8%程度の減少が予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

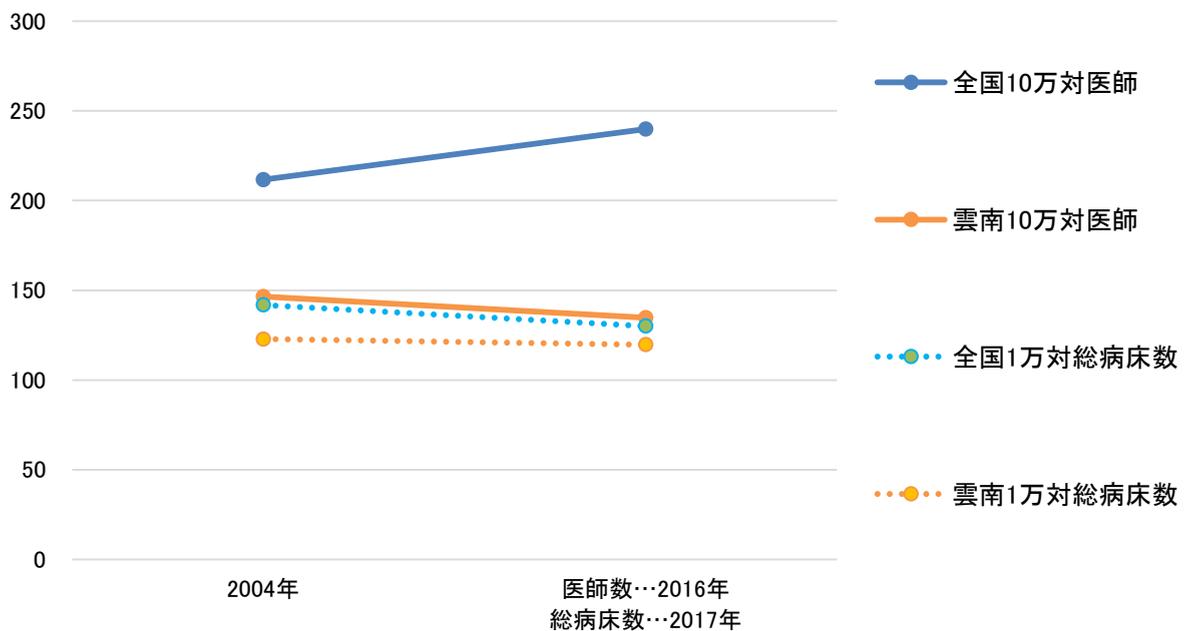
2004年の病院数が5(人口10万人当たり7.6病院(全国平均7.1)偏差値51)であったが、2017年に5(人口10万人当たり8.8病院(全国平均6.6)偏差値55)となり、13年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が58(人口10万人当たり88診療所(全国平均76)偏差値56)であったが、2017年に52(人口10万人当たり91診療所(全国平均80)偏差値56)と、6診療所が減少した。

2004年の総病床数が813床(人口1万人当たり123(全国平均142)偏差値47)であったが、2017年に684床(人口1万人当たり120(全国平均130)偏差値48)と、129床の減少、率にして16%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

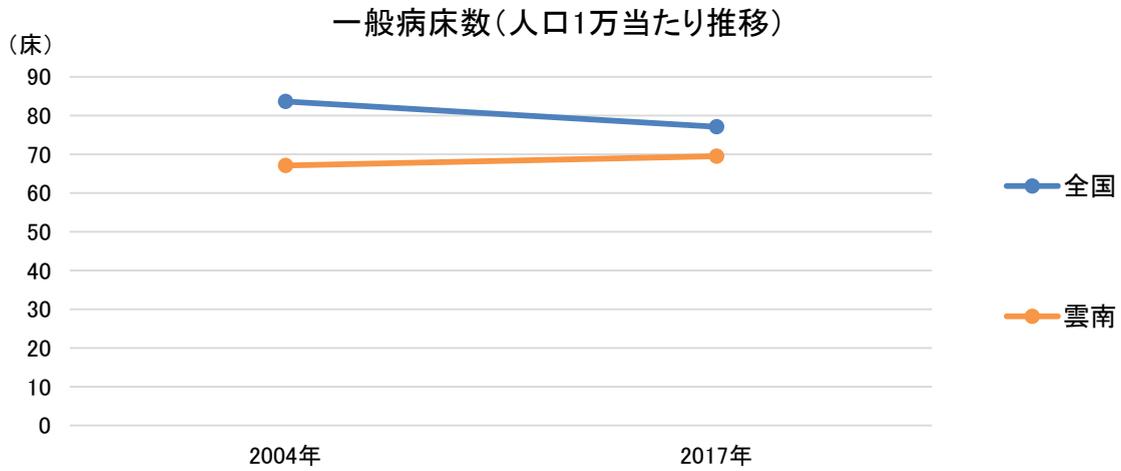
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が97人(人口10万人当たり147人(全国平均212人)偏差値42)であったが、2016年に77人(人口10万人当たり135人(全国平均240人)偏差値38)と、20人の減少、率にして21%の減少(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



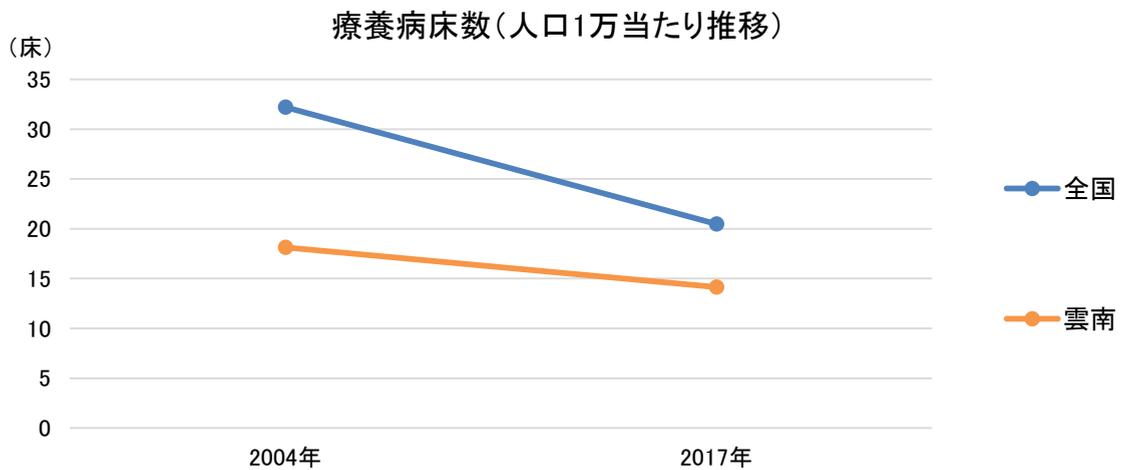
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が444床(人口1万人当たり67(全国平均84)偏差値44)であったが、2017年に397床(人口1万人当たり69(全国平均77)偏差値47)と、47床の減少、率にして11%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



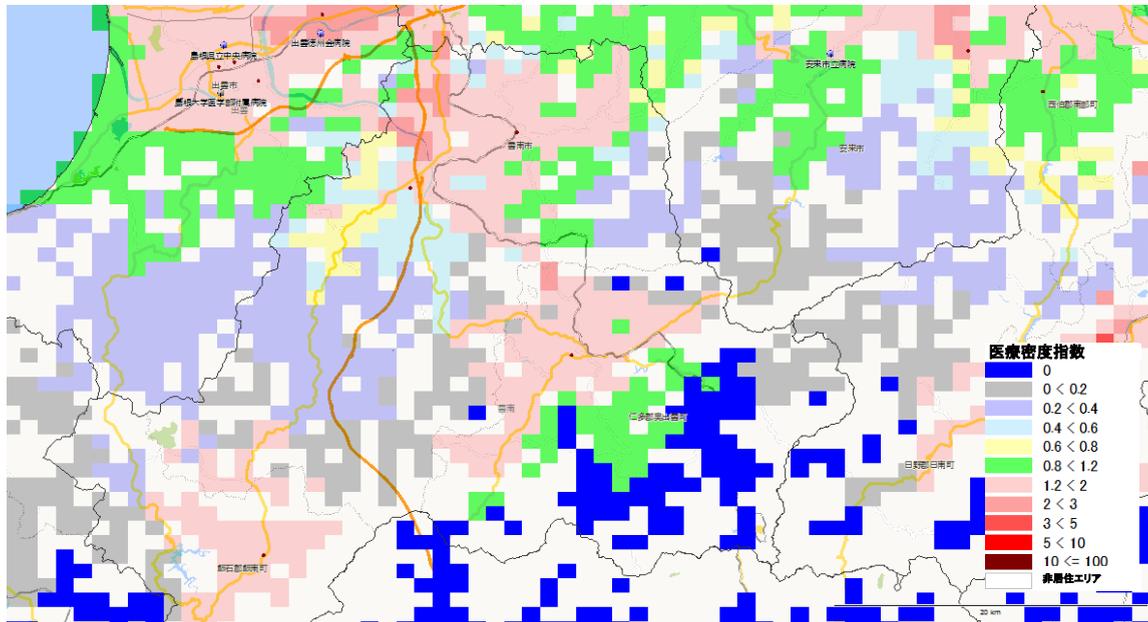
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が215床(75歳以上1,000人当たり18(全国平均32)偏差値42)であったが、2017年に183床(75歳以上1,000人当たり14(全国平均20)偏差値44)と、32床の減少、率にして15%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



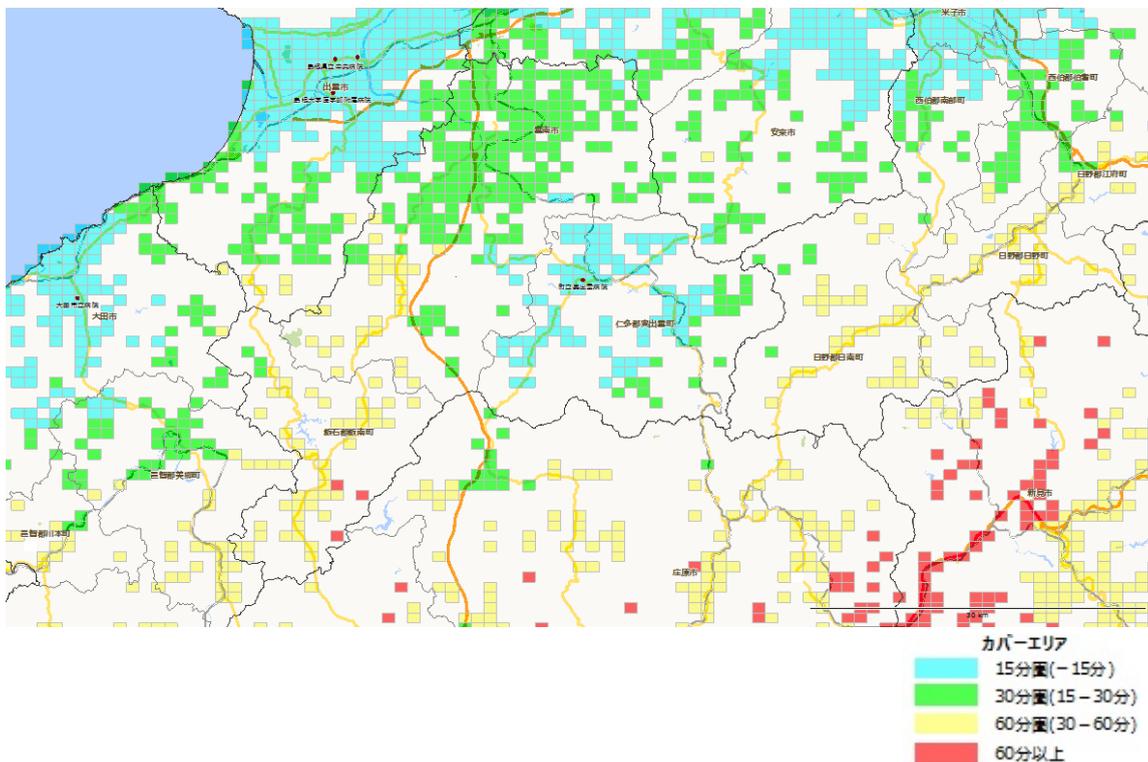
## (雲南医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表32-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表32-2-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）

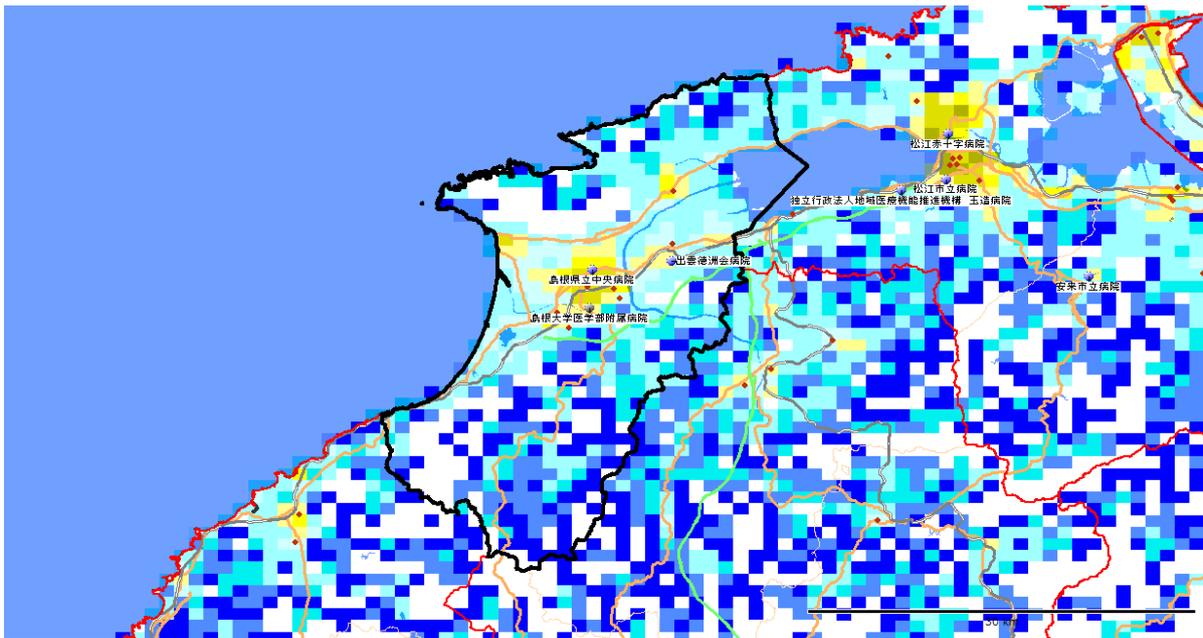


# 32-3. いづも 出雲医療圏

構成市区町村 [出雲市](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS  
 Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



## (出雲医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 出雲(出雲市)は、総人口約172千人(2015年)、面積624km<sup>2</sup>、人口密度は275人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 出雲の総人口は2025年に170千人へと減少し(2015年比-1%)、2040年に162千人へと減少する(2025年比-5%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の27千人が、2025年にかけて32千人へと増加し(2015年比+19%)、2040年には33千人へと増加する(2025年比+3%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 出雲の一人当たり医療費(国保)は416千円(偏差値66)、介護給付費は302千円(偏差値64)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 出雲の一人当たり急性期医療密度指数は1.17、一人当たり慢性期医療密度指数は1.31で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は充実している。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が73(病院医師数76、診療所医師数59)と、総医師数は非常に多く、病院医師数は非常に多く、診療所医師数は多い。総看護師数の偏差値は65と多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は61で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は47とやや少ない。出雲には、年間全身麻酔件数が2000例以上の島根県立中央病院(Ⅲ群・救命)、島根大学医学部附属病院(Ⅰ群・救命)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は55と療養病床数はやや多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値52と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値56と多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は50で精神病床数は全国平均レベルである。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は58で診療所数は多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 出雲の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2,990人(75歳以上1,000人当たりの偏差値55)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,682床(偏差値51)、高齢者住宅等が1,308床(偏差値54)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2,683人(75歳以上1,000人当たりの偏差値70)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設50、特別養護老人ホーム55、介護療養型医療施設なし(偏差値41)、有料老人ホーム49、軽費ホーム57、グループホーム63、サ高住48である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値52と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値43と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値55とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、310人(75歳以上1,000人当たりの偏差値47)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は+10%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

## (出雲医療圏) 2. 推移

## 【人口と医療需要】

出雲医療圏の総人口は、2005年173,751人が、2015年に171,938人と1%減少し、2025年の人口が170,061人と予測され、2005年→2025年の間に2%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に8%増加し、2015年から2025年にかけて5%程度の増加が予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

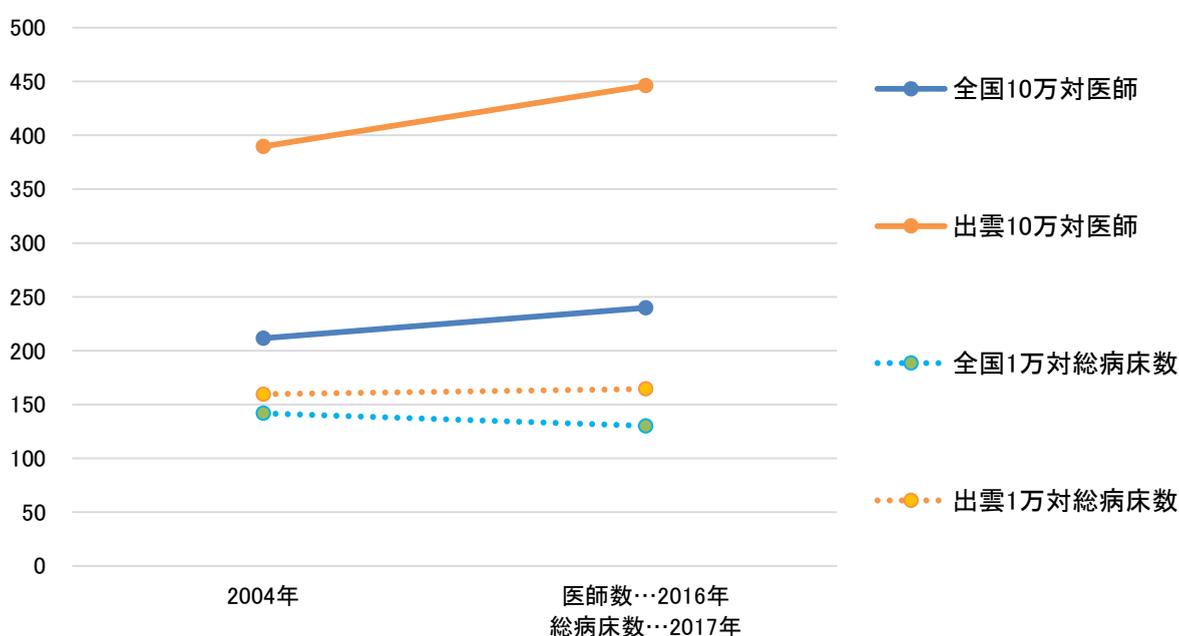
2004年の病院数が9(人口10万人当たり5.2病院(全国平均7.1)偏差値45)であったが、2017年に11(人口10万人当たり6.4病院(全国平均6.6)偏差値50)となり、13年間で2病院が増加した。

2004年の診療所数が172(人口10万人当たり99診療所(全国平均76)偏差値61)であったが、2017年に163(人口10万人当たり95診療所(全国平均80)偏差値58)と、9診療所が減少した。

2004年の総病床数が2,772床(人口1万人当たり160(全国平均142)偏差値53)であったが、2017年に2,827床(人口1万人当たり164(全国平均130)偏差値56)と、55床の増加、率にして2%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。

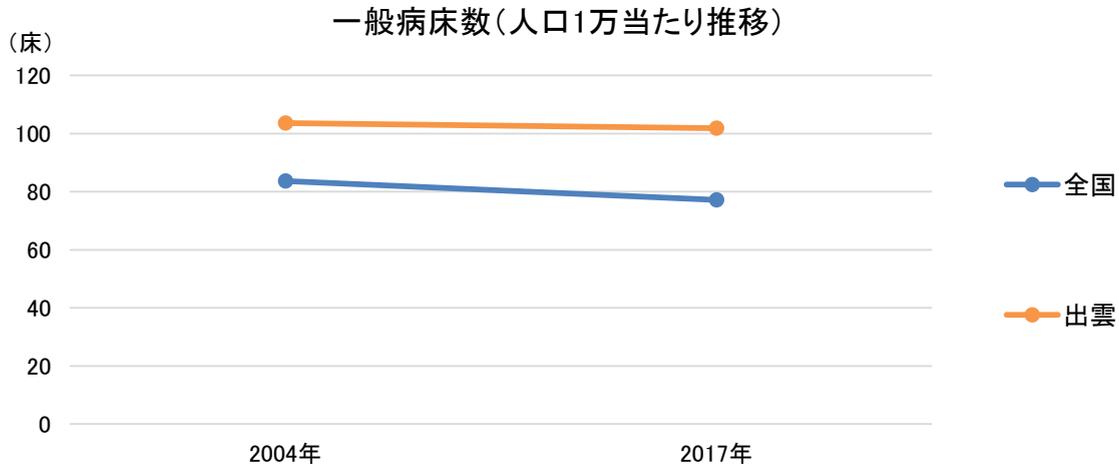
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が677人(人口10万人当たり390人(全国平均212人)偏差値71)であったが、2016年に767人(人口10万人当たり446人(全国平均240人)偏差値73)と、90人の増加、率にして13%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



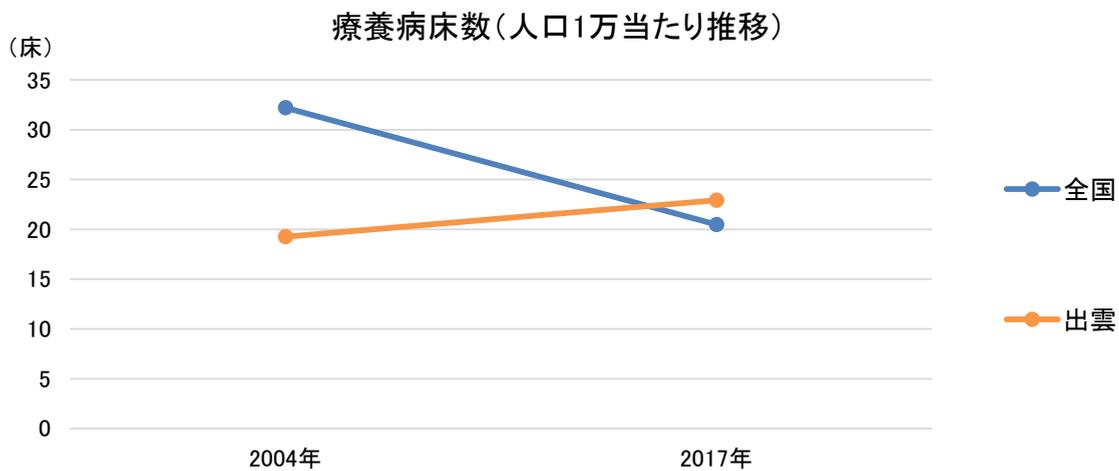
## 【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1,800床(人口1万人当たり104(全国平均84)偏差値57)であったが、2017年に1,750床(人口1万人当たり102(全国平均77)偏差値59)と、50床の減少、率にして3%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



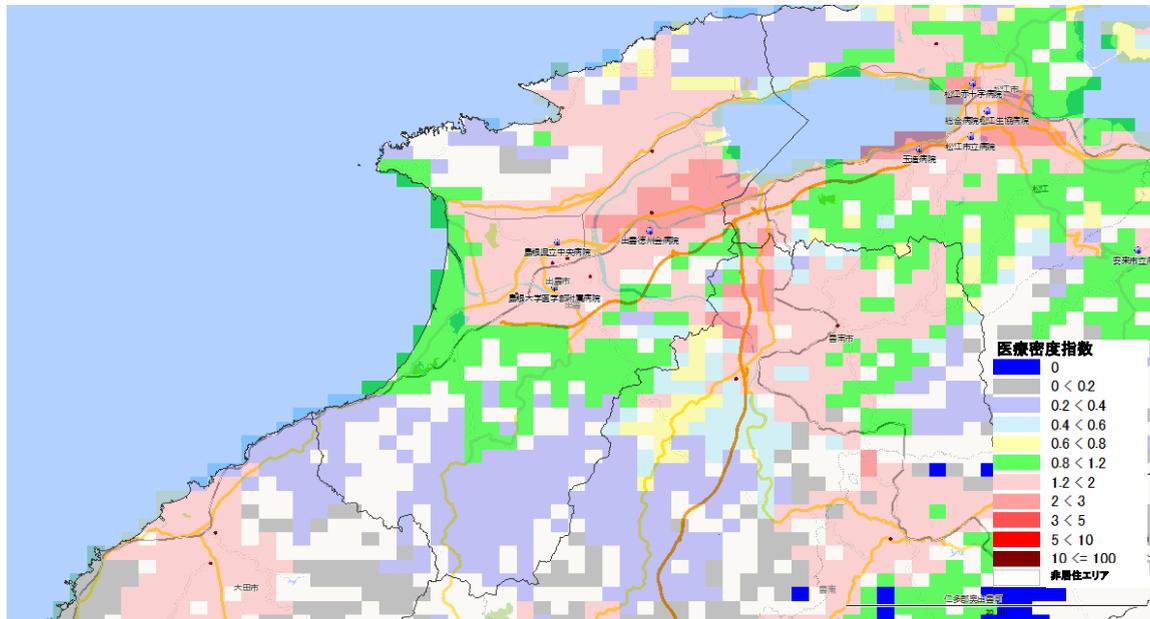
## 【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が405床(75歳以上1,000人当たり19(全国平均32)偏差値43)であったが、2017年に611床(75歳以上1,000人当たり23(全国平均20)偏差値52)と、206床の増加、率にして51%の増加(全国平均11%の減少)が見られた。



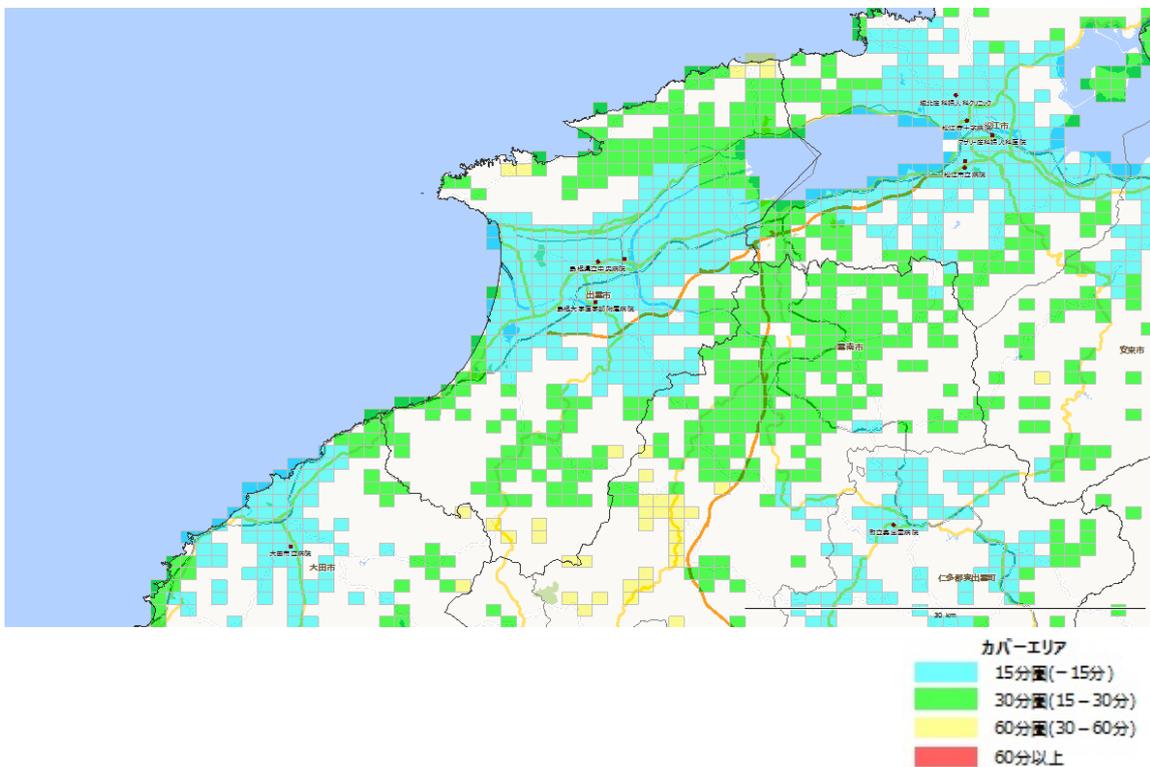
(出雲医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表32-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表32-3-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )

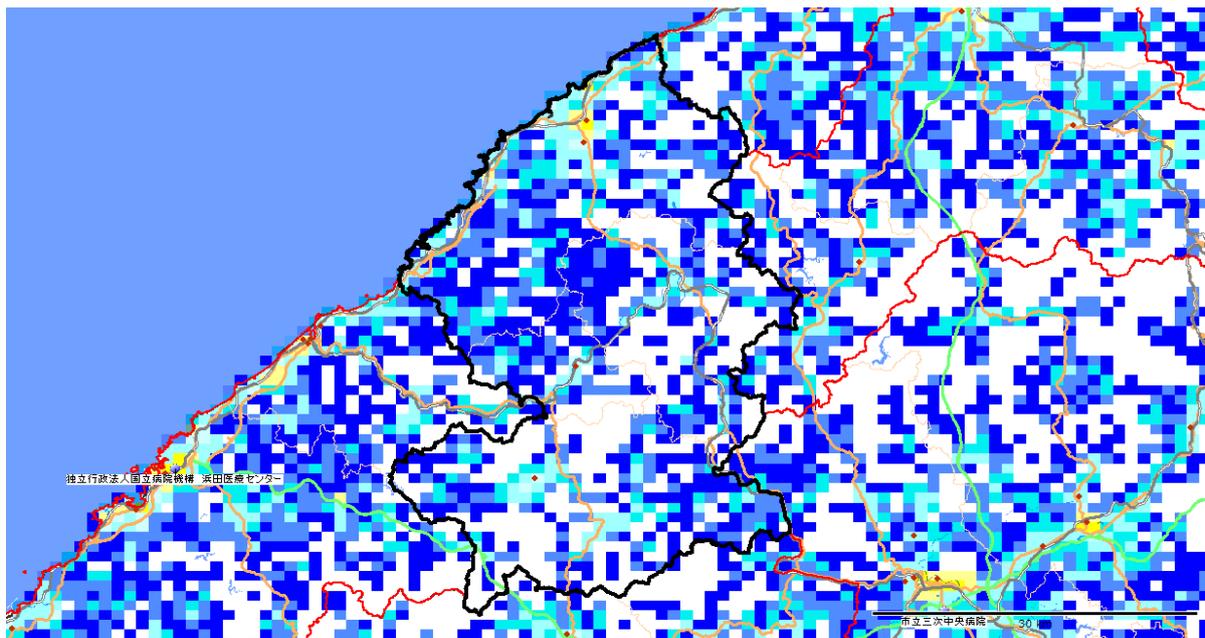


# 32-4. おおた 大田医療圏

構成市区町村 [大田市](#) [川本町](#) [美郷町](#) [邑南町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報GIS  
 Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



## (大田医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 大田(大田市)は、総人口約55千人(2015年)、面積1,244km<sup>2</sup>、人口密度は44人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 大田の総人口は2025年に46千人へと減少し(2015年比-16%)、2040年に34千人へと減少する(2025年比-26%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の13千人が、2025年にかけて13千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年には11千人へと減少する(2025年比-15%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 大田の一人当たり医療費(国保)は451千円(偏差値74)、介護給付費は341千円(偏差値76)であり、医療費、介護給付費ともに非常に高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 大田の一人当たり急性期医療密度指数は0.82、一人当たり慢性期医療密度指数は1.24で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は充実している。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が42(病院医師数39、診療所医師数55)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は49と全国平均レベルである。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は50で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は39と少ない。大田には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は53と療養病床数はやや多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値46とやや少なく、回復期病床数は偏差値58と多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は52で精神病床数は全国平均レベルである。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は77で診療所数は非常に多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 大田の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,344人(75歳以上1,000人当たりの偏差値51)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が1,000床(偏差値64)、高齢者住宅等が344床(偏差値40)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,172人(75歳以上1,000人当たりの偏差値62)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設54、特別養護老人ホーム65、介護療養型医療施設49、有料老人ホーム40、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム51、サ高住44である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値44と少なく、在宅療養支援病院は偏差値49と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値55とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、104人(75歳以上1,000人当たりの偏差値40)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は+14%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

## (大田医療圏) 2. 推移

## 【人口と医療需要】

大田医療圏の総人口は、2005年63,882人が、2015年に54,609人と15%減少し、2025年の人口が45,910人と予測され、2005年→2025年の間に28%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に8%減少し、2015年から2025年にかけて10%程度の減少が予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

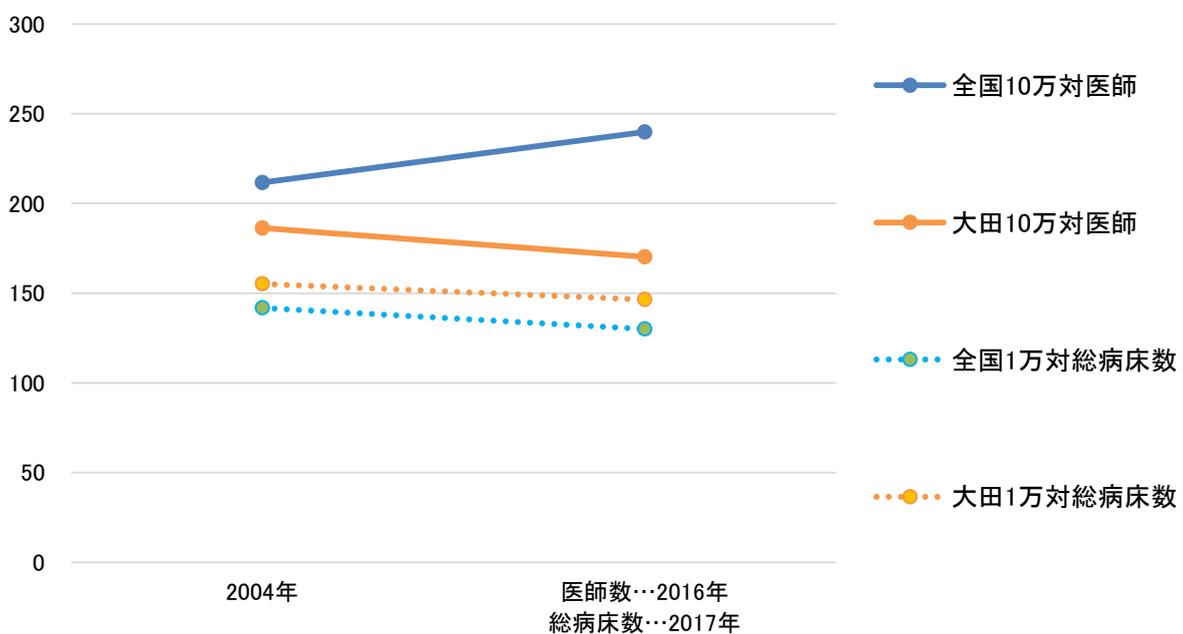
2004年の病院数が5(人口10万人当たり7.8病院(全国平均7.1)偏差値52)であったが、2017年に4(人口10万人当たり7.3病院(全国平均6.6)偏差値52)となり、13年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が85(人口10万人当たり133診療所(全国平均76)偏差値78)であったが、2017年に71(人口10万人当たり130診療所(全国平均80)偏差値77)と、14診療所が減少した。

2004年の総病床数が992床(人口1万人当たり155(全国平均142)偏差値52)であったが、2017年に800床(人口1万人当たり146(全国平均130)偏差値53)と、192床の減少、率にして19%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

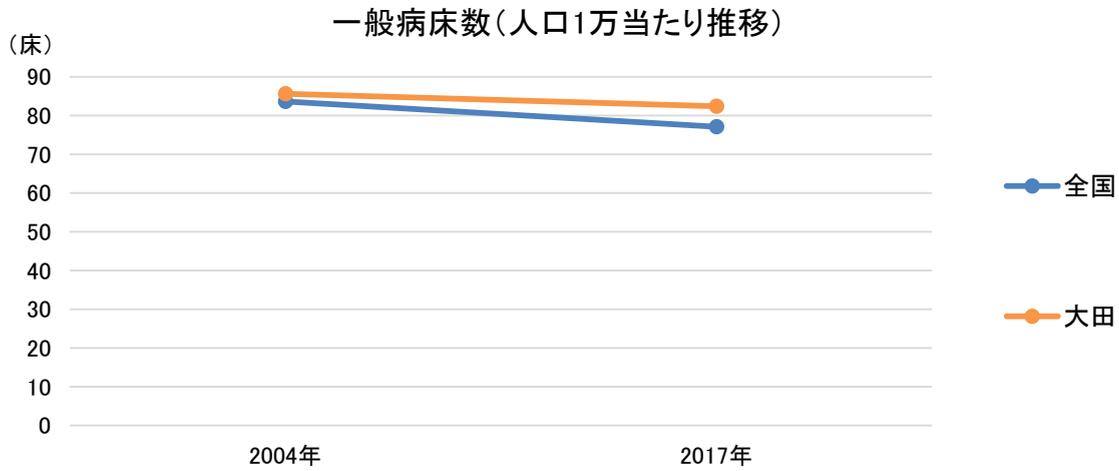
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が119人(人口10万人当たり186人(全国平均212人)偏差値47)であったが、2016年に93人(人口10万人当たり170人(全国平均240人)偏差値42)と、26人の減少、率にして22%の減少(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



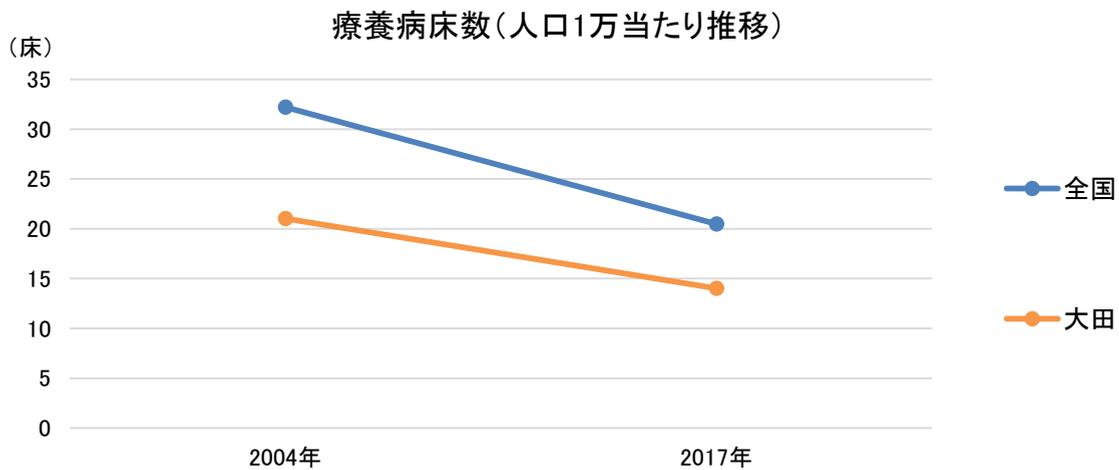
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が547床(人口1万人当たり86(全国平均84)偏差値51)であったが、2017年に450床(人口1万人当たり82(全国平均77)偏差値52)と、97床の減少、率にして18%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



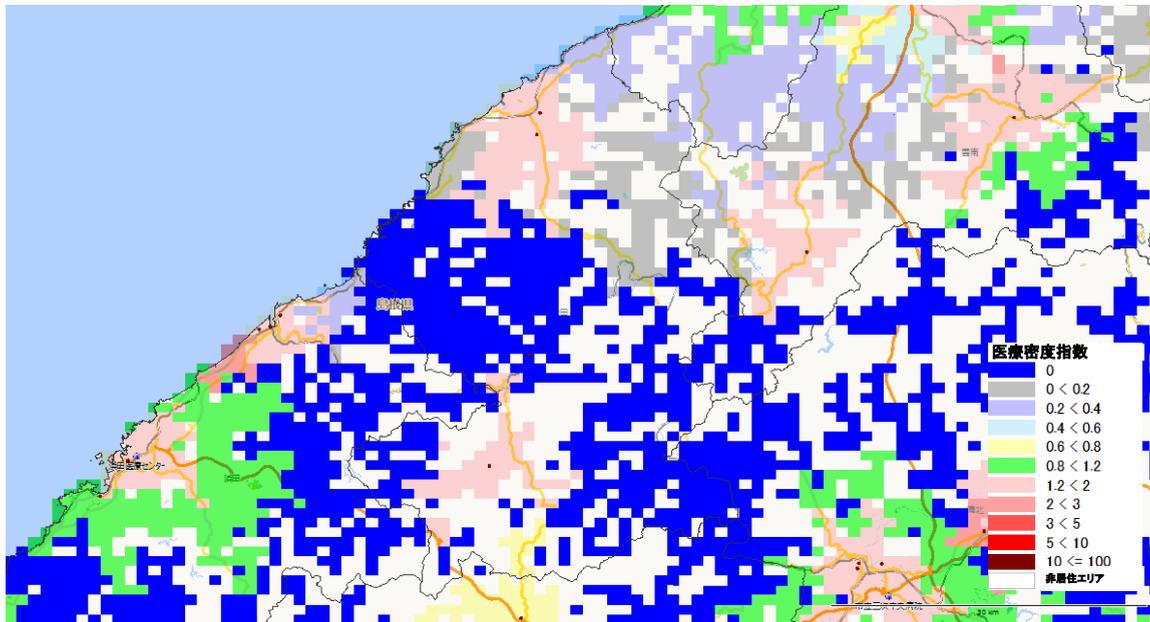
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が273床(75歳以上1,000人当たり21(全国平均32)偏差値44)であったが、2017年に178床(75歳以上1,000人当たり14(全国平均20)偏差値44)と、95床の減少、率にして35%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



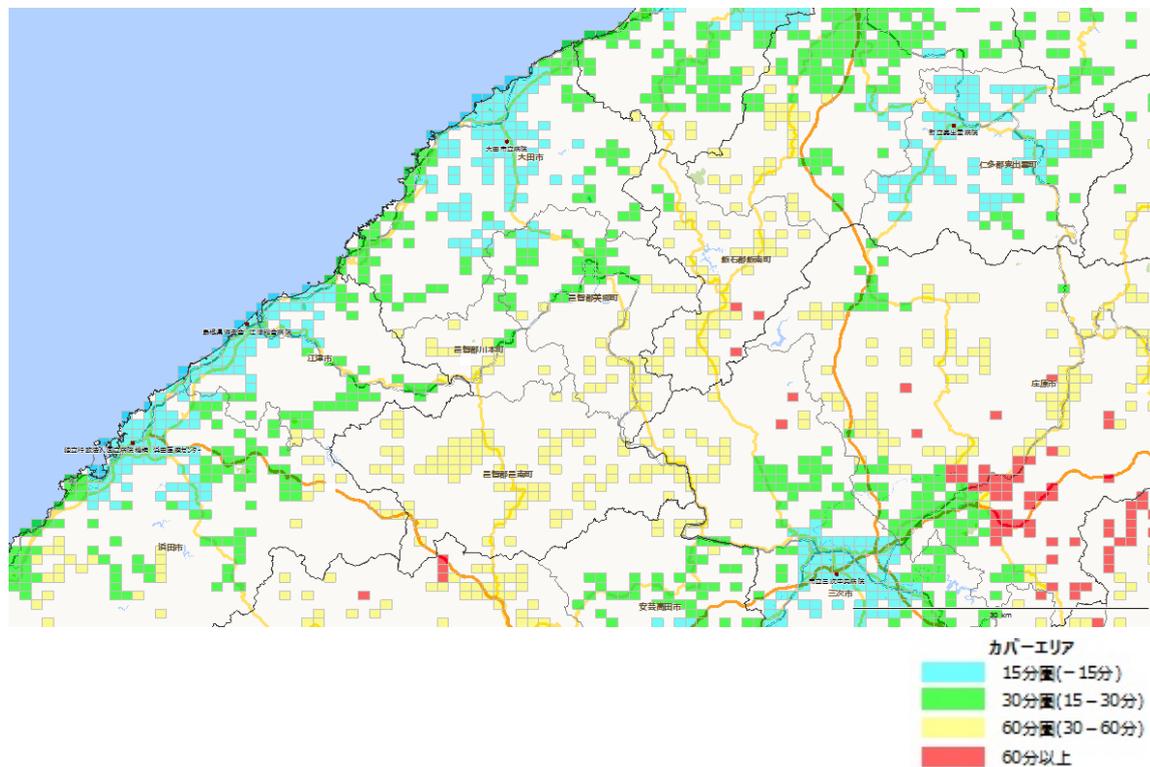
## (大田医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表32-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表32-4-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )

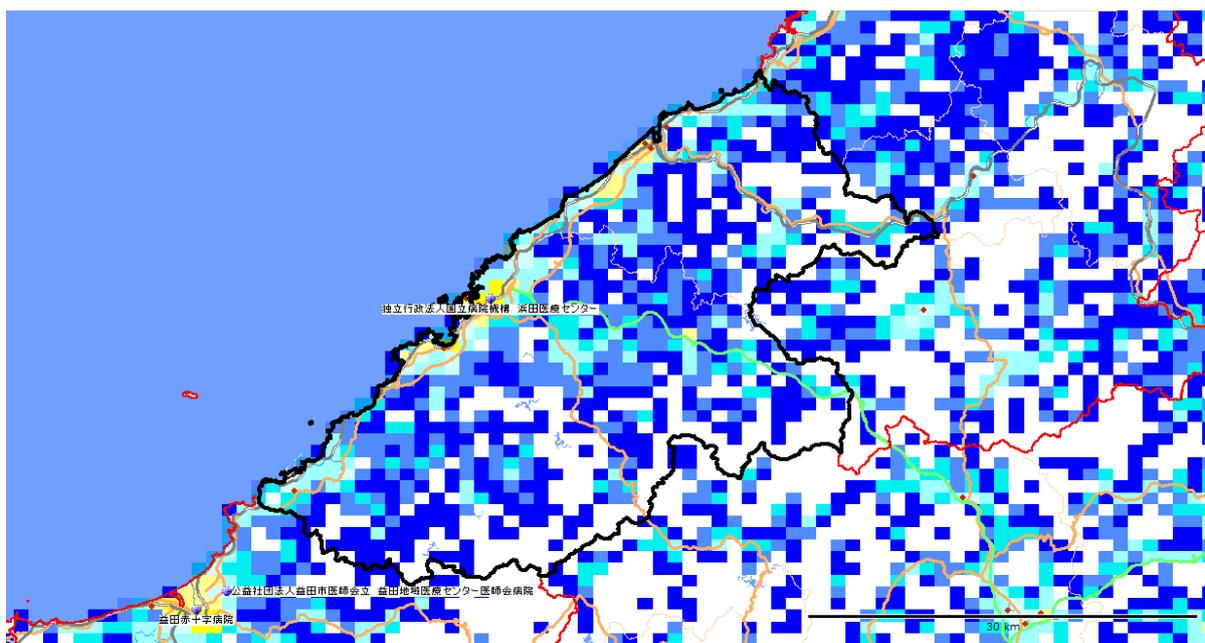


# 32-5. はまだ 浜田医療圏

構成市区町村 [浜田市](#) [江津市](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



## (浜田医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 浜田(浜田市)は、総人口約83千人(2015年)、面積959km<sup>2</sup>、人口密度は86人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 浜田の総人口は2025年に73千人へと減少し(2015年比-12%)、2040年に60千人へと減少する(2025年比-18%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の16千人が、2025年にかけて17千人へと増加し(2015年比+6%)、2040年には14千人へと減少する(2025年比-18%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 浜田の一人当たり医療費(国保)は500千円(偏差値85)、介護給付費は352千円(偏差値79)であり、医療費、介護給付費ともに非常に高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 浜田の一人当たり急性期医療密度指数は1.25、一人当たり慢性期医療密度指数は1.9で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が46(病院医師数43、診療所医師数55)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数は少ない。総看護師数の偏差値は61と多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は54で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は43と少ない。浜田には、年間全身麻酔件数が500例以上のNH0浜田医療センター(Ⅲ群・救命)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は60と療養病床数は多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値51と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値49と全国平均レベルである。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は61で精神病床数は多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は67で診療所数は非常に多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 浜田の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,615人(75歳以上1,000人当たりの偏差値49)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が1,207床(偏差値62)、高齢者住宅等が408床(偏差値39)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,450人(75歳以上1,000人当たりの偏差値62)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設64、特別養護老人ホーム56、介護療養型医療施設53、有料老人ホーム44、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム51、サ高住36である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値65と多く、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値42と少ない。介護職員(在宅)の合計は、256人(75歳以上1,000人当たりの偏差値55)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は+13%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

## (浜田医療圏) 2. 推移

## 【人口と医療需要】

浜田医療圏の総人口は、2005年90,820人が、2015年に82,573人と9%減少し、2025年の人口が73,307人と予測され、2005年→2025年の間に19%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に1%減少し、2015年から2025年にかけて6%程度の減少が予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

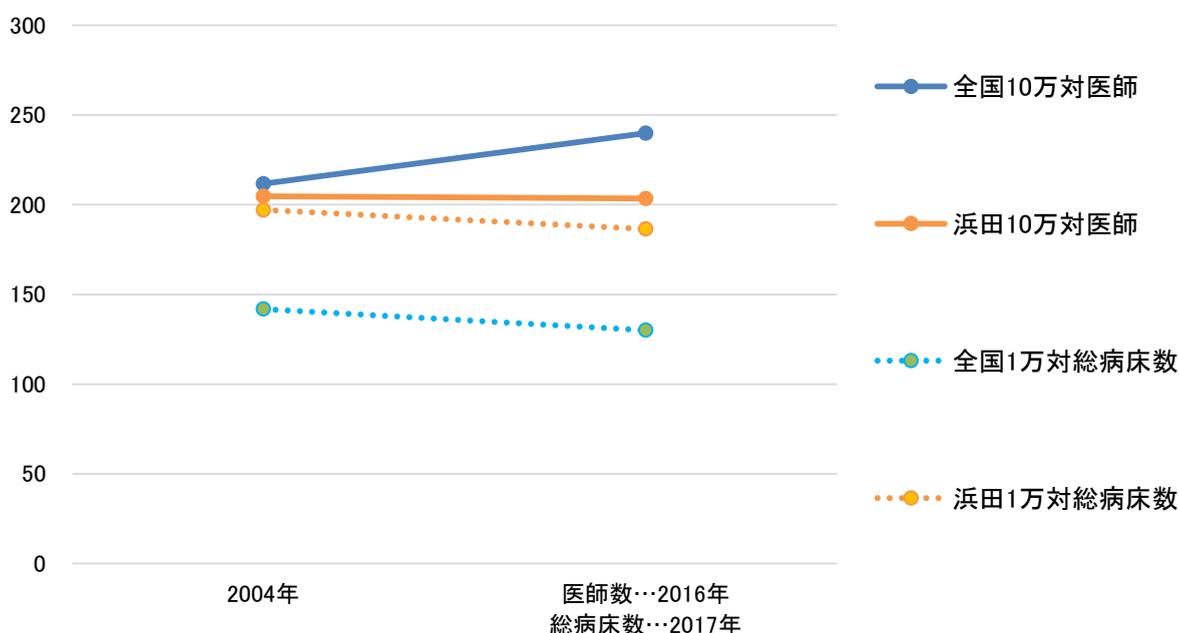
2004年の病院数が11(人口10万人当たり12.1病院(全国平均7.1)偏差値63)であったが、2017年に9(人口10万人当たり10.9病院(全国平均6.6)偏差値59)となり、13年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が101(人口10万人当たり111診療所(全国平均76)偏差値68)であったが、2017年に93(人口10万人当たり113診療所(全国平均80)偏差値67)と、8診療所が減少した。

2004年の総病床数が1,790床(人口1万人当たり197(全国平均142)偏差値60)であったが、2017年に1,540床(人口1万人当たり187(全国平均130)偏差値61)と、250床の減少、率にして14%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

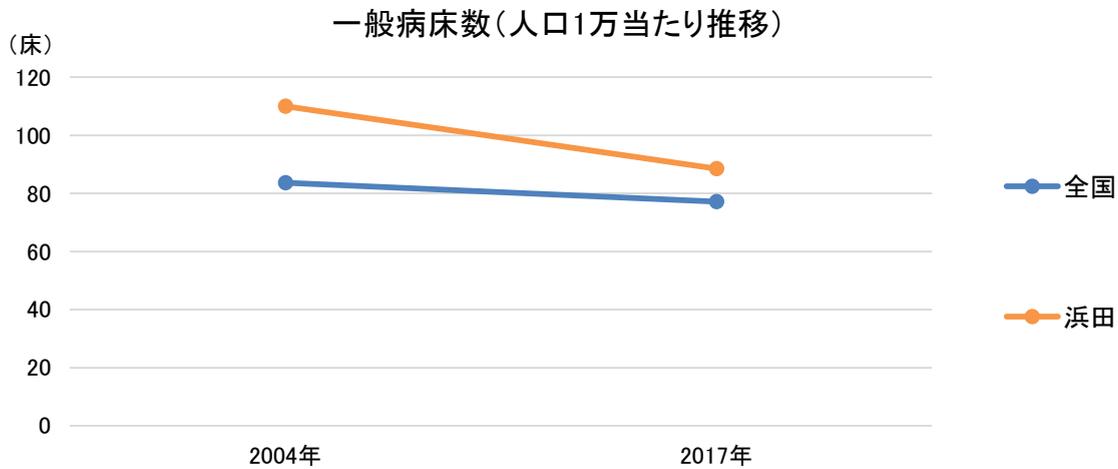
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が186人(人口10万人当たり205人(全国平均212人)偏差値49)であったが、2016年に168人(人口10万人当たり203人(全国平均240人)偏差値46)と、18人の減少、率にして10%の減少(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



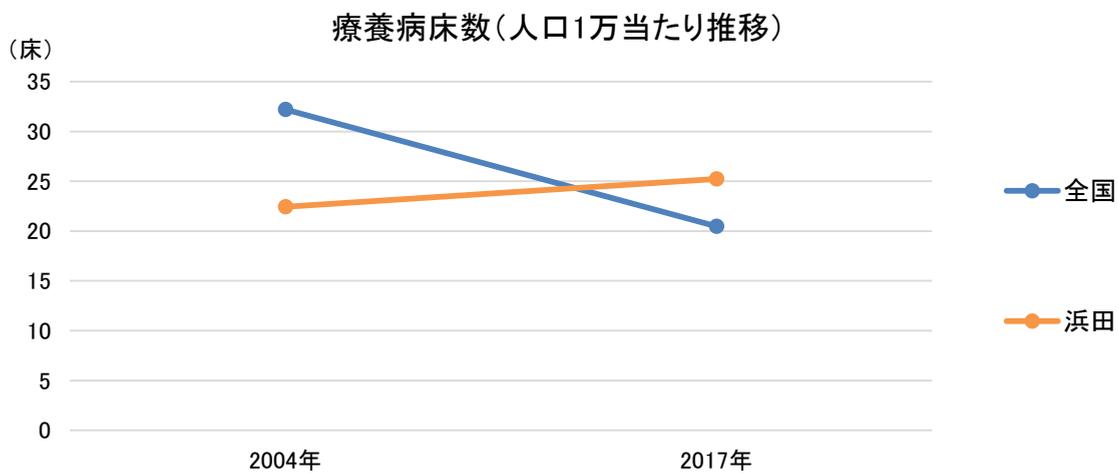
## 【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が999床(人口1万人当たり110(全国平均84)偏差値59)であったが、2017年に731床(人口1万人当たり89(全国平均77)偏差値54)と、268床の減少、率にして27%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



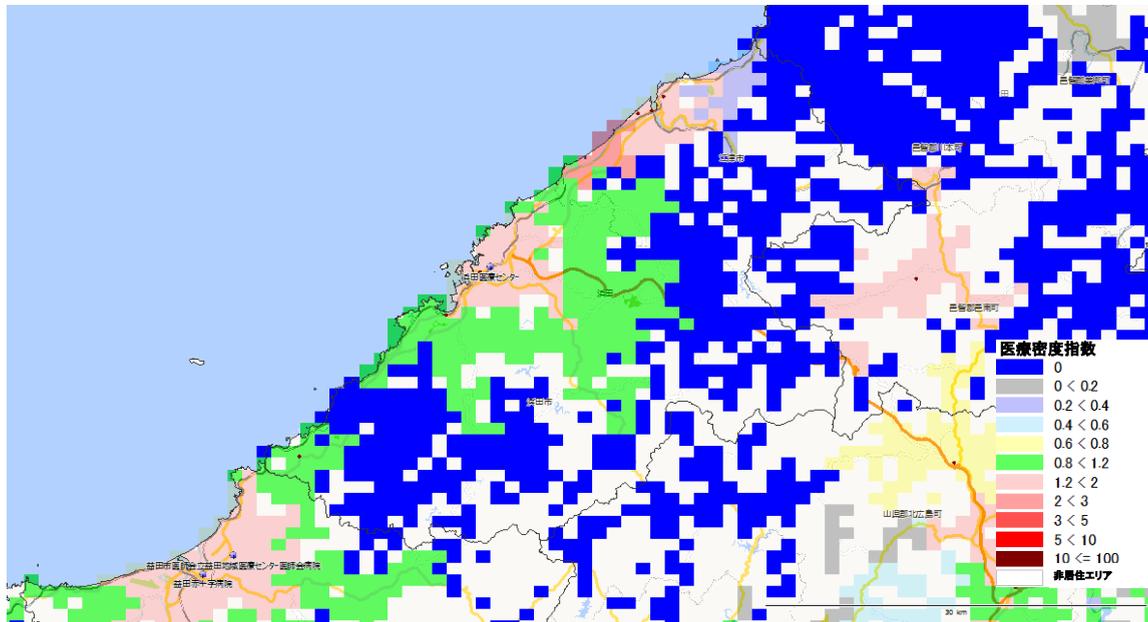
## 【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が317床(75歳以上1,000人当たり22(全国平均32)偏差値44)であったが、2017年に397床(75歳以上1,000人当たり25(全国平均20)偏差値54)と、80床の増加、率にして25%の増加(全国平均11%の減少)が見られた。



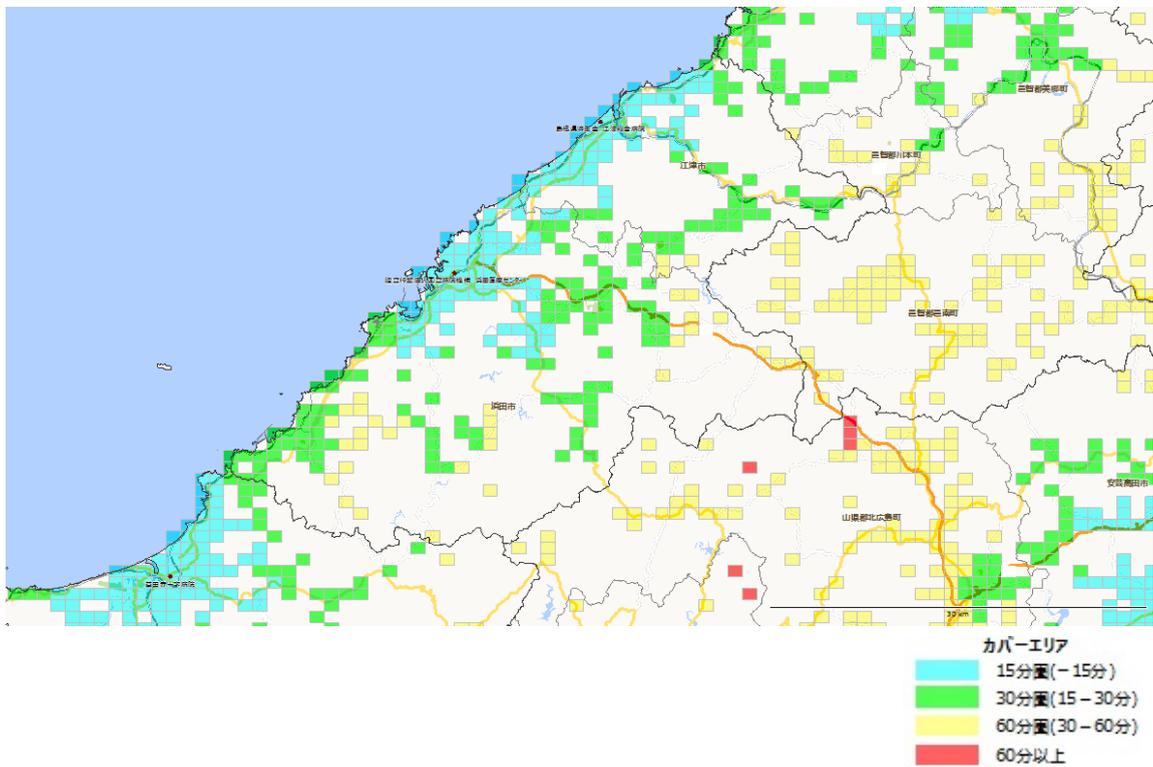
(浜田医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表32-5-1 急性期医療密度指数マップ



図表32-5-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )





## (益田医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 益田(益田市)は、総人口約62千人(2015年)、面積1,377km<sup>2</sup>、人口密度は45人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 益田の総人口は2025年に54千人へと減少し(2015年比-13%)、2040年に43千人へと減少する(2025年比-20%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の13千人が、2025年にかけて14千人へと増加し(2015年比+8%)、2040年には12千人へと減少する(2025年比-14%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 益田の一人当たり医療費(国保)は408千円(偏差値64)、介護給付費は295千円(偏差値62)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 益田の一人当たり急性期医療密度指数は0.9、一人当たり慢性期医療密度指数は3.02で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が47(病院医師数45、診療所医師数55)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は61と多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は61で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は45とやや少ない。益田には、年間全身麻酔件数が1000例以上の益田赤十字病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は57と療養病床数は多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値56と多く、回復期病床数は偏差値52と全国平均レベルである。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は54で精神病床数はやや多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は70で診療所数は非常に多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 益田の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,388人(75歳以上1,000人当たりの偏差値53)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が936床(偏差値60)、高齢者住宅等が452床(偏差値45)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,061人(75歳以上1,000人当たりの偏差値54)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設59、特別養護老人ホーム56、介護療養型医療施設52、有料老人ホーム40、軽費ホーム88、グループホーム53、サ高住42である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値46とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値49と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値44と少ない。介護職員(在宅)の合計は、93人(75歳以上1,000人当たりの偏差値39)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は+14%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

## (益田医療圏) 2. 推移

## 【人口と医療需要】

益田医療圏の総人口は、2005年69,245人が、2015年に61,745人と11%減少し、2025年の人口が53,958人と予測され、2005年→2025年の間に22%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に1%減少し、2015年から2025年にかけて5%程度の減少が予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

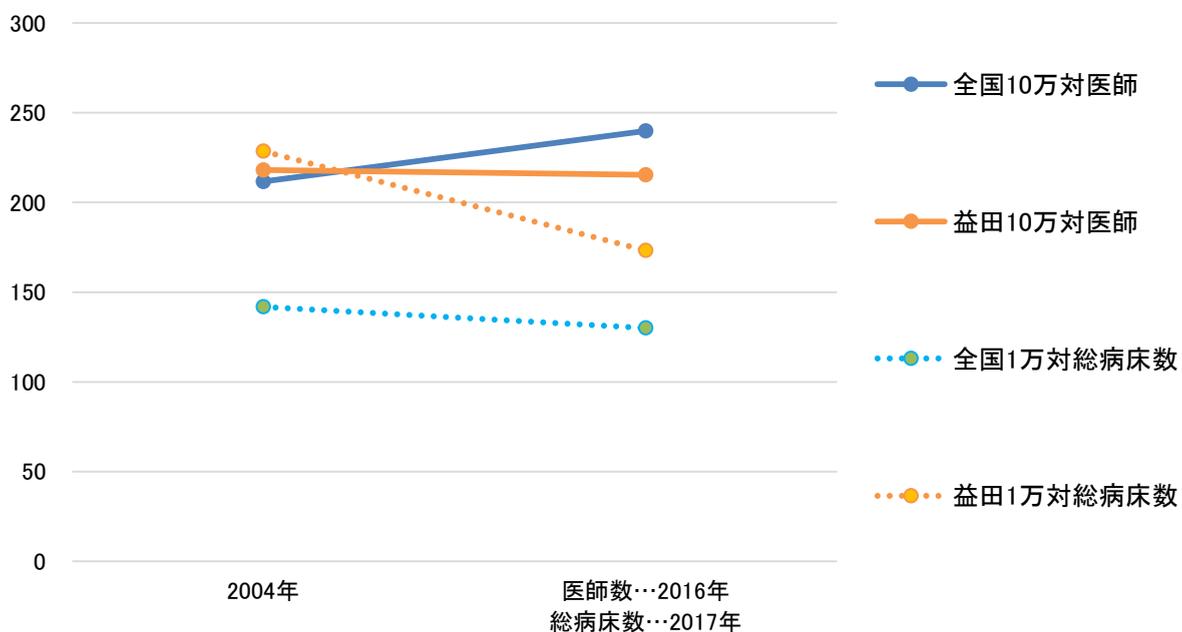
2004年の病院数が6(人口10万人当たり8.7病院(全国平均7.1)偏差値54)であったが、2017年に5(人口10万人当たり8.1病院(全国平均6.6)偏差値53)となり、13年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が73(人口10万人当たり105診療所(全国平均76)偏差値65)であったが、2017年に73(人口10万人当たり118診療所(全国平均80)偏差値70)と、増減がなかった。

2004年の総病床数が1,583床(人口1万人当たり229(全国平均142)偏差値65)であったが、2017年に1,070床(人口1万人当たり173(全国平均130)偏差値58)と、513床の減少、率にして32%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

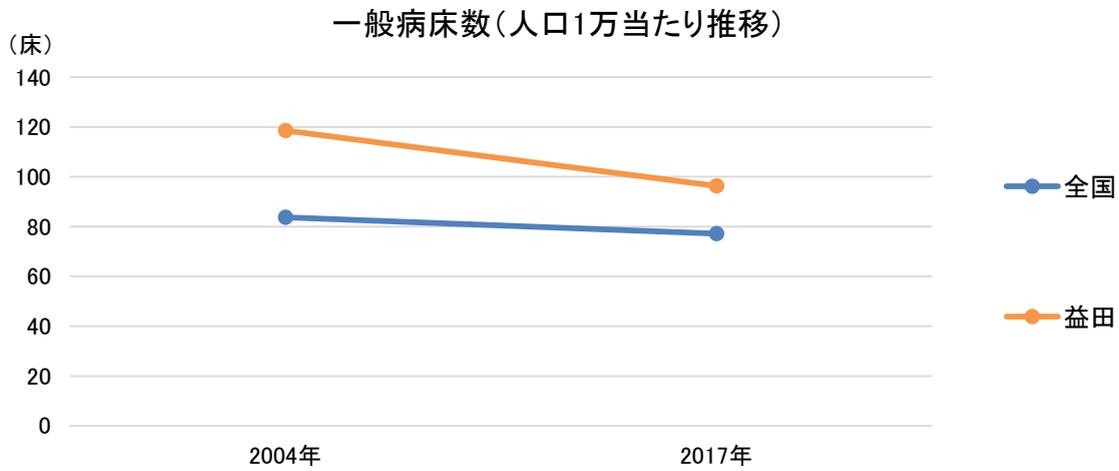
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が151人(人口10万人当たり218人(全国平均212人)偏差値51)であったが、2016年に133人(人口10万人当たり215人(全国平均240人)偏差値47)と、18人の減少、率にして12%の減少(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



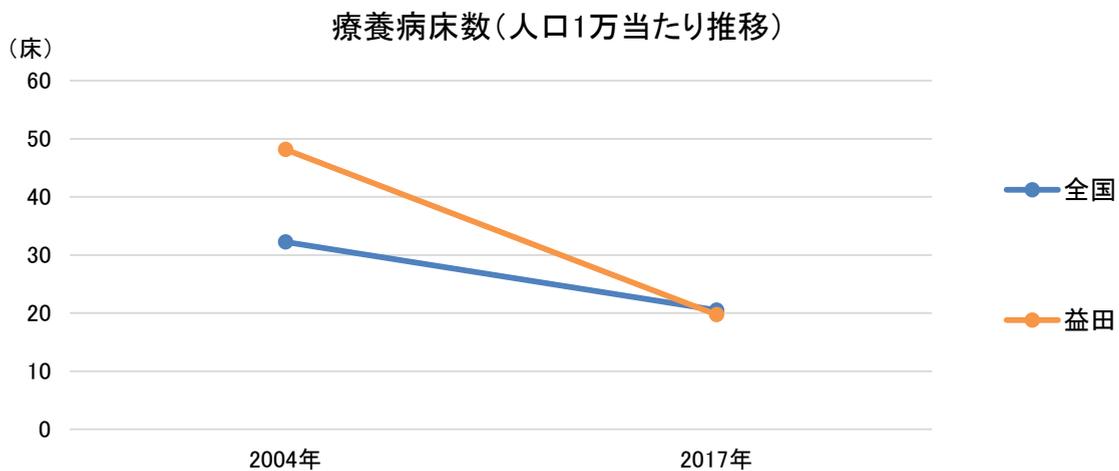
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が821床(人口1万人当たり119(全国平均84)偏差値62)であったが、2017年に595床(人口1万人当たり96(全国平均77)偏差値57)と、226床の減少、率にして28%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



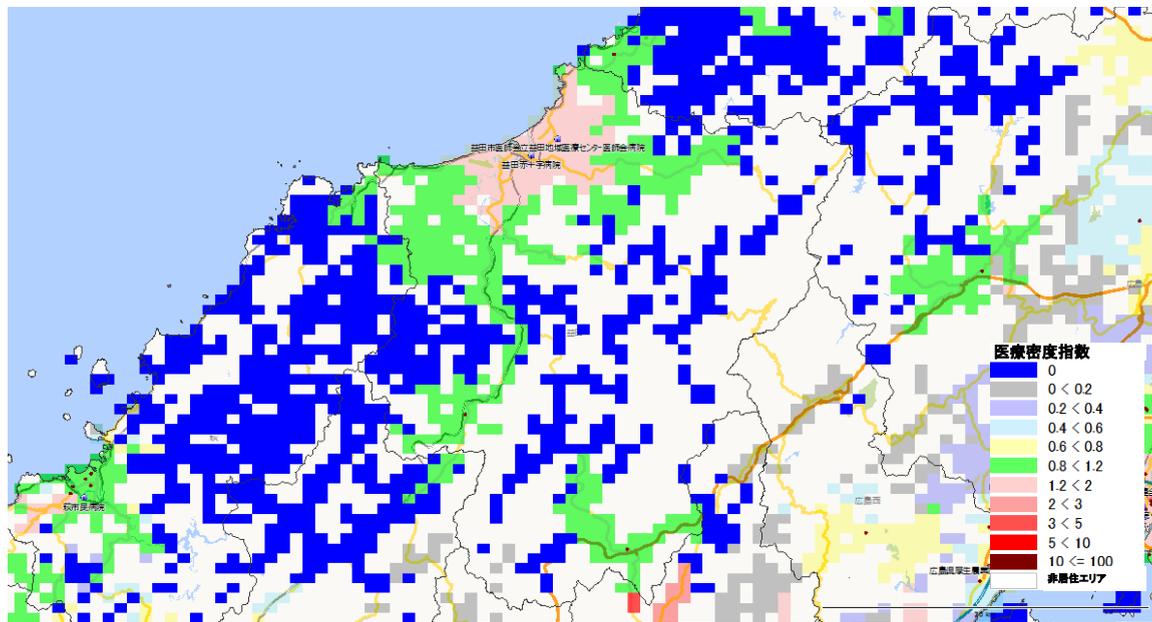
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が535床(75歳以上1,000人当たり48(全国平均32)偏差値59)であったが、2017年に252床(75歳以上1,000人当たり20(全国平均20)偏差値49)と、283床の減少、率にして53%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



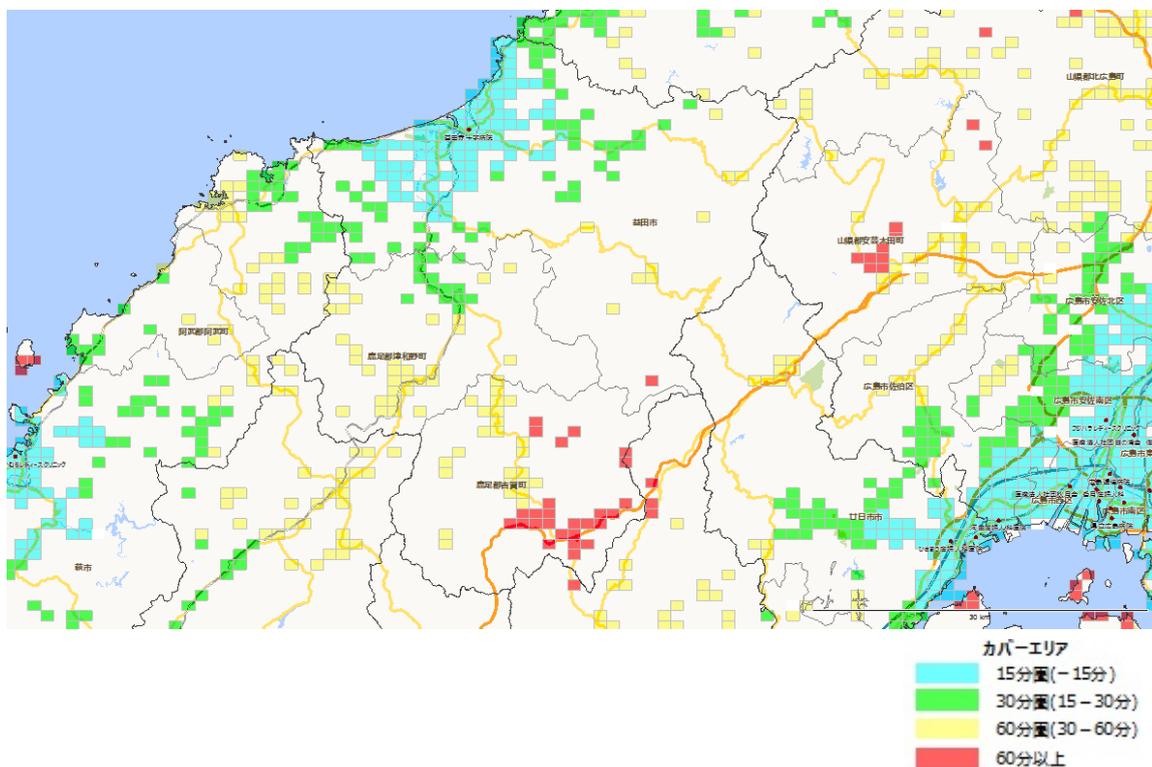
## (益田医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表32-6-1 急性期医療密度指数マップ



図表32-6-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )

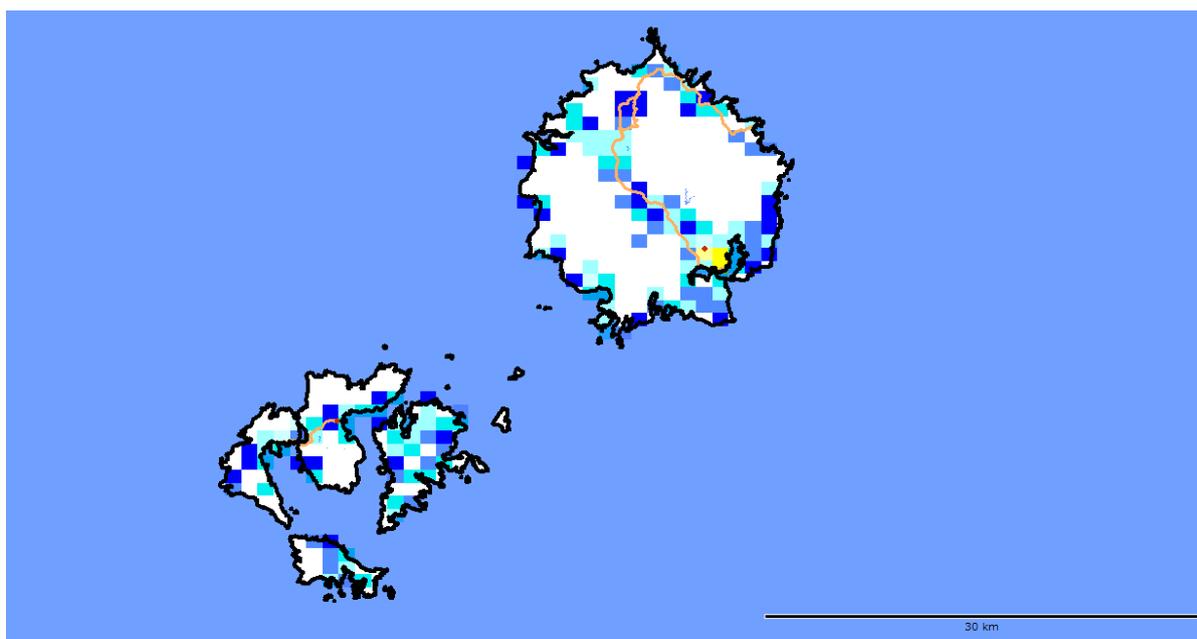


# 32-7. おき 隠岐医療圏

構成市区町村 [海士町](#)      [西ノ島町](#)      [知夫村](#)      [隠岐の島町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画 (1km<sup>2</sup>メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。  
 赤色系統は人口が多く (10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は  
 中間レベル (1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が  
 少ない (1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS  
 Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ



## (隠岐医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 隠岐(隠岐郡海士町)は、総人口約21千人(2015年)、面積346km<sup>2</sup>、人口密度は60人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 隠岐の総人口は2025年に18千人へと減少し(2015年比-14%)、2040年に14千人へと減少する(2025年比-22%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の5千人が、2025年にかけて5千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年には4千人へと減少する(2025年比-20%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 隠岐の一人当たり医療費(国保)は409千円(偏差値65)、介護給付費は342千円(偏差値76)であり、医療費は高く、介護給付費は非常に高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 隠岐の一人当たり急性期医療密度指数は0.5、一人当たり慢性期医療密度指数は0.69で、急性期の医療はかなり少ないが、慢性期の医療は少ない。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が39(病院医師数41、診療所医師数36)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は46とやや少ない。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は43で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は42と少ない。隠岐には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は43と療養病床数は少ない。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値42と少なく、回復期病床数は0である。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は43で精神病床数は少ない。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は59で診療所数は多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 隠岐の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、428人(75歳以上1,000人当たりの偏差値45)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が356床(偏差値64)、高齢者住宅等が72床(偏差値33)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、497人(75歳以上1,000人当たりの偏差値78)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設38、特別養護老人ホーム75、介護療養型医療施設50、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム56、サ高住なし(偏差値30)である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値45とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値101と非常に多い。また、訪問看護ステーションは偏差値50と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、43人(75歳以上1,000人当たりの偏差値43)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は+5%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

## (隠岐医療圏) 2. 推移

## 【人口と医療需要】

隠岐医療圏の総人口は、2005年23,696人が、2015年に20,603人と13%減少し、2025年の人口が17,891人と予測され、2005年→2025年の間に24%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に5%減少し、2015年から2025年にかけて4%程度の減少が予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

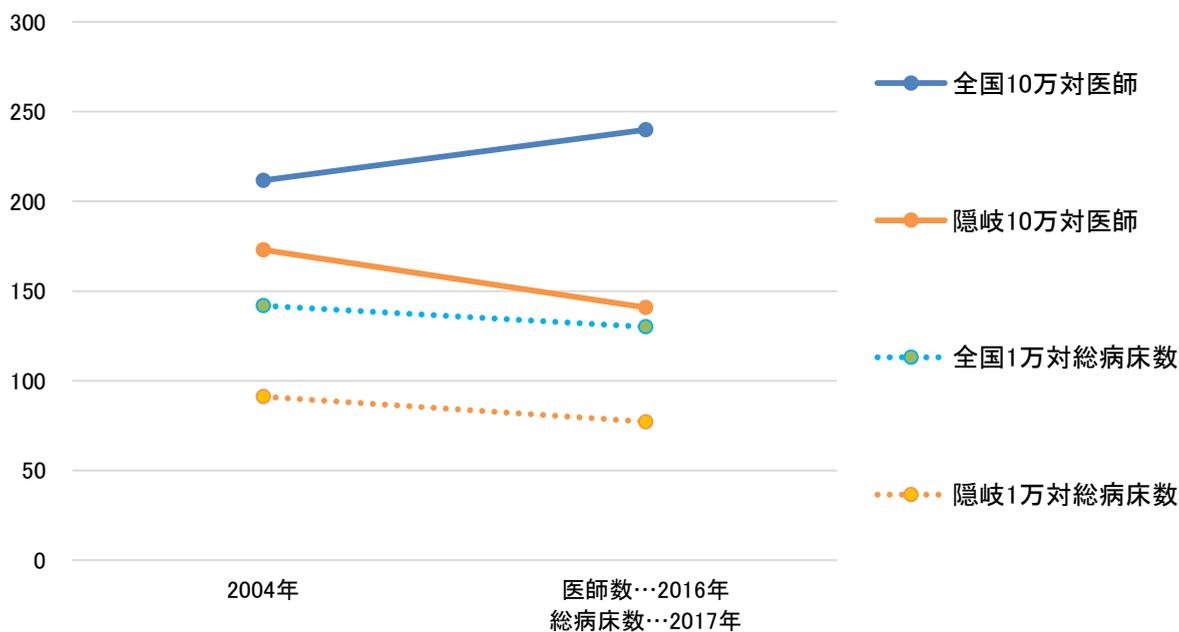
2004年の病院数が2(人口10万人当たり8.4病院(全国平均7.1)偏差値53)であったが、2017年に2(人口10万人当たり9.7病院(全国平均6.6)偏差値57)となり、13年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が27(人口10万人当たり114診療所(全国平均76)偏差値69)であったが、2017年に20(人口10万人当たり97診療所(全国平均80)偏差値59)と、7診療所が減少した。

2004年の総病床数が216床(人口1万人当たり91(全国平均142)偏差値41)であったが、2017年に159床(人口1万人当たり77(全国平均130)偏差値40)と、57床の減少、率にして26%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

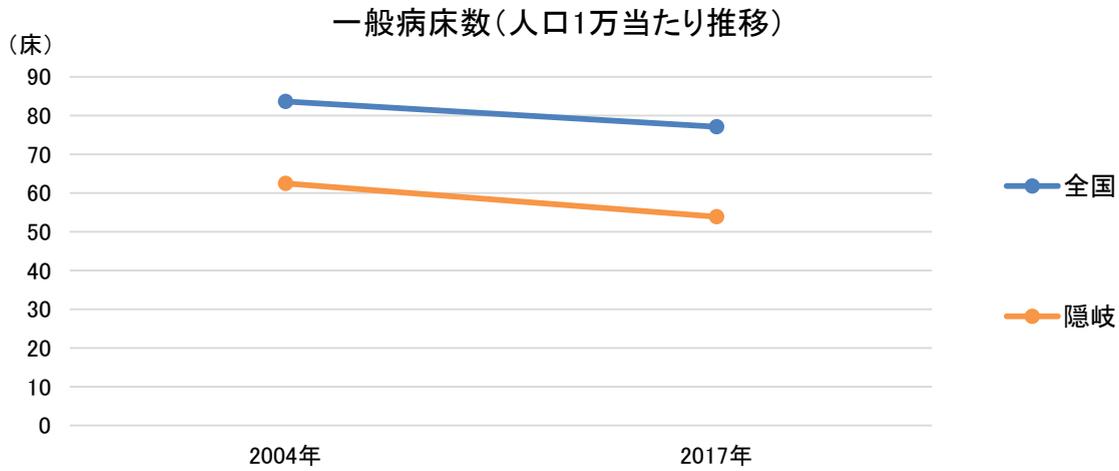
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が41人(人口10万人当たり173人(全国平均212人)偏差値45)であったが、2016年に29人(人口10万人当たり141人(全国平均240人)偏差値39)と、12人の減少、率にして29%の減少(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



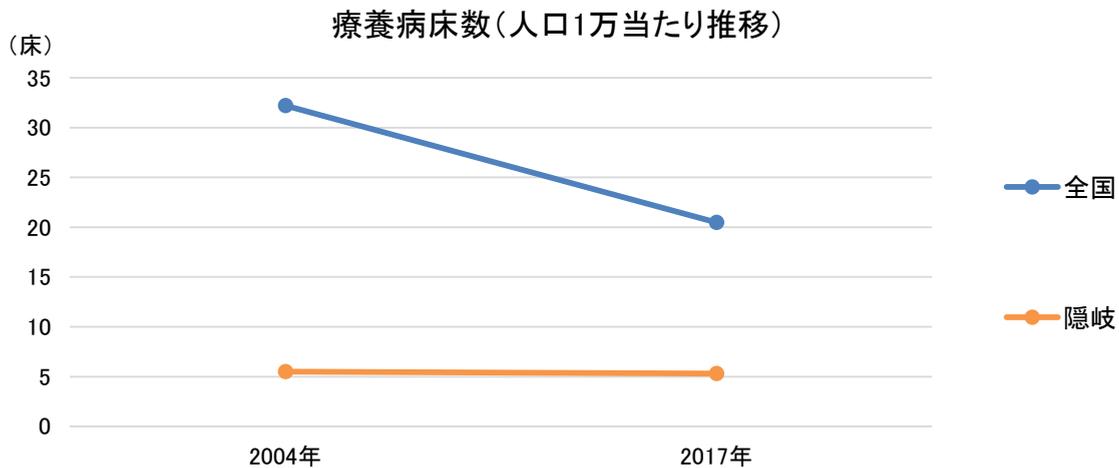
## 【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が148床(人口1万人当たり62(全国平均84)偏差値42)であったが、2017年に111床(人口1万人当たり54(全国平均77)偏差値41)と、37床の減少、率にして25%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



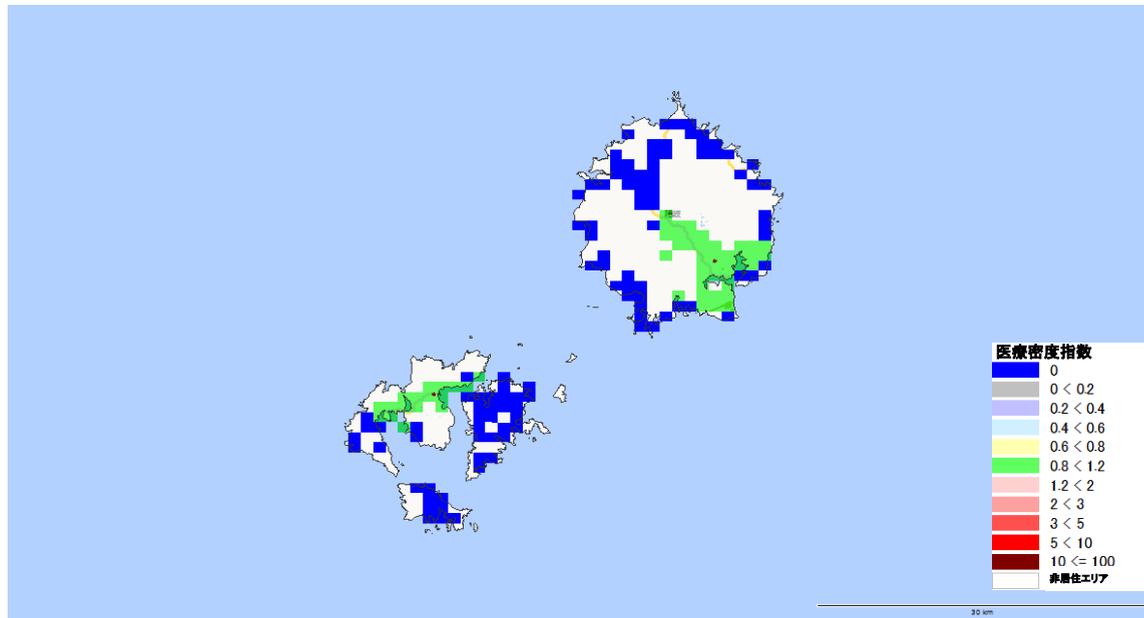
## 【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が24床(75歳以上1,000人当たり5(全国平均32)偏差値35)であったが、2017年に24床(75歳以上1,000人当たり5(全国平均20)偏差値37)と、増減がなかった(全国平均9%の減少)。



(隠岐医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表32-7-1 急性期医療密度指数マップ



図表32-7-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )

